



©環境省

エコアクション21

地球と地域の未来へ 今できること

エコアクション21のすすめ



環境省

Eco-Action 21

エコアクション21のすすめ

環境省総合環境政策局環境経済課

私たちの日常生活や経済活動は自然の恵みに頼って営んでおり、その恵みを持続可能に利用できることが前提です。そのためには一人ひとりが、また全ての主体が地球環境の現状を認識し、行動を起こしていくことが必要です。

他方、我が国の99%を占める中小企業^{※1}の環境への取組は、未だ十分に進んでいないのが現状で、企業としての体制づくりを必要とする取組 (EMS^{※2}) 等はあまり進んでいないという調査結果もあります^{※3}。

しかし、EMSの導入によって事業者は様々なメリットを享受できます^{※4}。

- ・コストの削減につながった
- ・社外からの評価が高まった

他方、地域社会にも様々なメリットがあります。

- ・環境負荷低減につながった
- ・環境意識向上につながった

このように、地域の事業者がEMSを導入することは、事業者と地域社会の両者にとってメリットのあることと言えます。

エコアクション21は環境省が策定したEMSで、中小事業者にも取り組みやすいよう設計され、全国で約7,600事業者が認証登録をしています。また、地方公共団体等が地域の事業者へエコアクション21を円滑に紹介できるよう、様々な支援策も用意しています。

本パンフレットでは、エコアクション21で地域のグリーン化に取り組む地方公共団体や事業者を紹介しています。これを機に、エコアクション21をご理解いただき、地域の環境と経済の好循環を実現するための手段の一つとして、ぜひエコアクション21の活用をご検討ください。

※1 中小企業庁：中小企業・小規模企業者数

<http://www.chusho.meti.go.jp/koukai/chousa/index.html>

※2 環境マネジメントシステム (Environmental Management System)

※3 中小企業庁：中小企業の省エネへの取組の現状

<http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/h22/h22/html/k212300.html>

※4 環境省：環境にやさしい企業行動調査

<http://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/kigyo/index.html>

目次

エコアクション21のすすめ	2
知っていますか？ エコアクション21	3
環境がつなぐ企業と自治体、そして地域の未来	4
エコアクション21認証・登録制度とは	6
エコアクション21を選ぶ7つのメリット	7
地方公共団体の取組事例	8
エコアクション21認証・登録事業者の取組事例	28

知っていますか？ エコアクション21

エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォーマンスを継続的に改善する手法を基礎として、組織や事業者等が環境保全への取り組みを自主的に行うための方法を定めています。エコアクション21は、あらゆる事業者が効果的、効率的、継続的に環境に取り組んでいただけるよう、次の特徴を持っています。



エコアクション21は

中小の事業者でも容易に取り組める
環境配慮に必要な取組がわかる
環境コミュニケーションを実現できる
環境マネジメントシステムです

「中小の事業者でも容易に取り組める」とは？

「環境への負荷の自己チェックの手引き」「環境への取組の自己チェックの手引き」を用い、事業者が自らの環境負荷に関する状況と、環境保全活動の具体的な方法を簡単に把握できるようになっています。

「環境配慮に必要な取組がわかる」とは？

把握すべき環境負荷の項目と取り組みについて、CO₂や廃棄物の削減など環境経営にあたっての必須要件を定めています。初めての事業者でも無理なく、具体的な環境保全活動を始められるようになっています。

「環境コミュニケーションを実現できる」とは？

「環境活動レポート」の作成を必須要件とすることで、事業者が環境への取組状況等を公表する環境コミュニケーションを行うことにより、取引先やお客様からの信頼を得ることができます。環境活動レポートは、エコアクション21中央事務局のホームページに掲載され、一般の方々が見ることが出来ます。

国内での政策的な位置づけ

エコアクション21は、日本の環境政策における重要な施策のひとつとして、国の法律や制度等に位置づけられています。

第四次 環境基本計画

環境配慮促進法

優良産廃処理業者認定制度

環境コミュニケーション大賞

環境マネジメントシステムについて

環境マネジメントシステム(Environmental Management System:EMS)は、組織や事業者等が、自主的な環境保全への取り組みを継続的に行うための「しくみ」のことです。環境マネジメントシステムに関しては、国際標準化機構(ISO)が定めた国際的な規格として「ISO14001」があり、エコアクション21はこの「ISO14001」を参考に、中小企業を主な対象とした「しくみ」として考案されました。我が国においては、この他にもISO14001を参考とした、KESなどの「地域版EMS」やエコステージなどがあります。



はごろもフーズ株式会社
代表取締役社長
池田 憲一

静岡市長
田辺 信宏

環境省
総合環境政策局長
小林 正明

【ファシリテーター】
サステナビリティ
日本フォーラム代表理事
後藤 敏彦

【対談】エコアクション21が描く地域創生の架け橋

環境がつなぐ企業と自治体、そして地域の未来

～静岡県静岡市に見る、地域企業と自治体の連携～

今、世界が抱える環境問題に、「何となく遠い話」と無関心を決め込む人が少なくありません。しかし、地球の温暖化は確実に進行していて、一刻も早い対応が求められています。この問題を解決するには、一人一人、事業者一社一社の取り組みが大切であり、その取り組みに国や自治体がどういう形で連携していくのか、これがとても重要です。

庁舎の正面玄関に「ストップ地球温暖化」と書かれたマットが敷かれ、市民の間にも環境意識が根付いている静岡市。自らバイオプラントを持ち、「ゼロエミッション」の言葉すら聞けなかった時代から、徹底したリサイクルで地域環境に貢献している「はごろもフーズ株式会社」。そして、日本の環境行政を束ねる環境省——自治体、企業、国と立場の異なる方々が集い、地方自治と域内企業の環境連携、描かれる地域創生について対談をしました。

後藤:頭では理解していても、何かのきっかけや思いがなければ、人はなかなか行動に移すことができないといえます。静岡を代表する食品メーカー「はごろもフーズ株式会社」は、どのような背景、経緯から、環境マネジメントシステム(EMS)の扉を開いていったのでしょうか。

池田:カツオやマグロは、海水温が1℃上がるだけで、生息域、水深が全く変わってしまいます。私どもの主力商品「シーキチン®」は、こうした天然の産物を原料にしているのですが、「温暖化が進んでしまったら、シーキチンが作れなくなるんじゃないか」という危惧をいつもいただいています。ですから、持続可能な社会の構築に寄与できない企業は、これからは成長していけないだろうと、そういう思いが特別強いのだと思います。

EMSを導入する際に「エコアクション21を採用するのか、それともISO14001を採用するのか」という話もありました。当社の場合、ISOのように国際的に認められているかどうかはあまり関係なく、実利というか実用性を追求していくにはどちらが優れているのかという観点での検討になりました。さらに、審査人の方にいろいろご指導いただけるうえに、環境活動を実際の現場に適用していける——そのしぐみを知るほど、「こちらの方が合っているのではないか」ということになり、エコアクション21を採用しました。



後藤:静岡県では、多くの市町がエコアクション21に対して、手厚い導入支援を用意しています。決断には、おそらくそうした後押しもあったのではないかと思います。そこで、支援する側として静岡市のお考え、どのような方針で実践されているのか、お聞かせください。

田辺:長い時間と手間をかけ、地域の環境改善に取り組んでくれている。その努力に行政がどんな恩返しをしていくの

か、そういうことだと思います。だから、ちょっとインセンティブを提供しなきゃいけない。たとえば認証取得費用の一部を補助するとか、あるいは取得支援セミナーを開催するとか。公共工事の入札時の企業の評価点にプラスをしてインセンティブにしようとか。こういうことで推進してきたわけです。

行政が理念的なことを押し付けるだけの啓発は、効果が薄いと思います。民間企業は現実に儲けなきゃいけないわけだし、そういう中でさまざまなインセンティブを組み合わせながら、理念も大切にしていってもらう。そのためにサポートを行うのが行政の役割なのだと思います。

後藤:このエコアクション21を日本全国に広げるために、環境省は10年以上、いろいろなサポート、普及促進をしてきています。その環境省に、こうした静岡県の、市町の取り組みはどのように映っているのでしょうか、そして、今後どのように活用していこうと考えられているのでしょうか。

小林:環境を良くしながら、経済とも上手く歯車がかみ合って、地域が元気になっていく——これからの明るい日本を、どうやって地域から築いていくのかだと考えています。地域創生も環境の視点で眺めてみると、見えることがある。たとえば地域の資源に気づいて、これをビジネスチャンスに結びつけるといったアイデアもあるのではないかと思います。

これからの地域のあり方を考える時、行政がもちろんその中心なのかもしれませんが、はごろもフーズさんのような中核的な企業の環境活動が大きな要素になる。エコアクション21は、そのための大きなポテンシャルを持っています。静岡市では、行政が大きな目配り、積極支援、推奨していただいている。それから企業の環境活動をきちんと評価して育てるしぐみもある。このような取り組みが全国に広がればと思います。



地域創生 × 環境経営



後藤:「エコアクション21にメリットを感じない」の問いに、アンケートの回答が「0」だったという静岡市。企業の皆さん、いずれもメリットは感じられているようです。それでは市や行政が、域内企業と一体になって進めていることは、地域のメリットにつながっているのでしょうか。

田辺:官民連携ですね。そして、連携意識と当事者意識。こうした気持ちがないと、世の中ってというのはなかなか変わらない。

ない。ただ、行政が正しく「こっちの方向だぞ」という志を強く持っていれば、持ち続けていければ、ゆっくりとゆっくりとだけれども、「必ず変わっていくんだ」と信じてやっています。こうした連携はもちろん、静岡市にとって大いにプラスになっていますよ。

池田:そうですね。環境問題に一番大切なことは、社内をいかに啓発していくか、社員にいかに浸透させていかなのだと思います。そういった意味で私どもとしては、市が実施している自治体イニシアティブプログラムなどは、社員に当事者意識を高めるための機会を持たせてくれているという点で、大きなメリットを感じています。

小林:社員の意識を高めるといことで、環境はやっぱり人づくりなんだろうね。会社づくり、地域づくりと同時に人づくりをどうやっていくのか、これが大事なのだと思います、そのためにはいろいろな仕掛けが要るはずで…エコアクション21では「環境活動レポート」を必ず書いていただいているんですが、それがまた自分を見つめ直す機会にもなるということで、このレポートを書くというのも1つなかもかもしれません。

池田:エコアクション21で特徴的なのは、環境活動の報告書を自分たちで書いて公表する点です。当社の場合、手作り感がかなり強いですが、自分たちで作り上げてきたということが大きな自信にもなって、その自信がより良い製品を生産していこう、消費者の皆様へ提供していこう、そういった気持ちにつながっていることが、当社にとってもう1つ大きなメリットと考えています。

田辺:ちょっとずれちゃうかもしれないけど…職員にはいつも言っているんです、一人の百歩より百人の一步だと。まちづくりはこれだぞと。リーダーに強い思いがあって一人で百歩歩いてても、後ろを振り向いたら誰も居ないじゃダメなんです。それよりも、百人の一步。同じ歩数の百歩だけれども、手を繋いで皆で一步を印す。その百歩の方が絶対にまちは良くなるはずなんです。

池田:「環境活動レポート」もまさにその一步、私どもでは自分たちを知るこの一步になっています。今まで請求書が来ればただ支払っていた電気代、公共料金ですが、それを意識するようになりました。これが第一歩で、自分たちを知る手立てを確認できたことが本当に大きな、とても有益な一步でした。小さな一步かもしれませんが、それを積み上げていく、横に広げていくことが、最終的に自分たちに返ってくるのだと思っています。

後藤:今回の対談を通じて、持続可能な地域創生には官民が連携することが大事であり、その一つの手段として静岡市はエコアクション21を上手くつなげている印象をうけました。静岡市のモデルが全国に広がることを大いに期待したいところです。

池田:地球温暖化にしても資源の枯渇にしても、待ったなしの状況まで来ていると感じています。次世代にかけがえのないこの地球、自然環境を引き継ぎ残していくには、環境と社会の共生に向けて当事者意識を持ち、しっかりと踏み出す時期に来ているのではないのでしょうか。エコアクション21は、その1つの道しるべというか、自己認識を促しながら次の行動指針を示してくれる、“拠り所”のようなものだと考えています。



ほご3もフーズ株式会社

創業：1931年5月25日 設立：1947年7月28日
事業内容：各種缶詰製品・パスタ製品・乾物製品・ペットフード製品などの製造販売、太陽光発電事業等
主要製品ブランド名：「シーチキン®」「シャキッと®コーン」「サラスパ®」「パパッと®ライス」など



静岡市 「世界に輝く静岡」の実現に向けて 第3次静岡市総合計画がスタート!

人口：713,564人(平成27年4月1日現在 住民基本台帳人口)
面積：1,411.90km²
地勢：静岡市は、県のほぼ中央に位置し、3,000m級の山々が連なる南アルプスから水深2,500mの駿河湾へとつながる世界でも極めて珍しい高低差5,500mという自然環境を有する「都市」です。

田辺:気候、環境に恵まれているこの静岡だからできることがあるんじゃないかと。エコアクション21を活かして、ちょっとした実利のしくみを作れば、これからも環境先進都市としてやっていけるし、持続可能な成熟した21世紀の国際都市モデルにだってなれると思うし…東京でも大阪でもできないことをこの静岡でやりきりたい——そのためにも、エコアクション21をもっと普及させて、ほごさんもフーズさんのような企業を、どんどん生み出していかなくてはならないと考えています。



小林:今回の対談を通じて、環境を軸とした地域づくりにエコアクション21が有効な手段の一つであることを、改めて実感しました。全国の自治体の皆様にもエコアクション21等を活用して持続可能な地域創生を目指していただければと思います。



エコアクション21認証・登録制度とは?

環境省

ガイドライン

ガイドラインに基づき、エコアクション21に取り組む

+

認証・登録

エコアクション21に取り組む事業者を第三者機関である中央事務局が認証・登録する制度

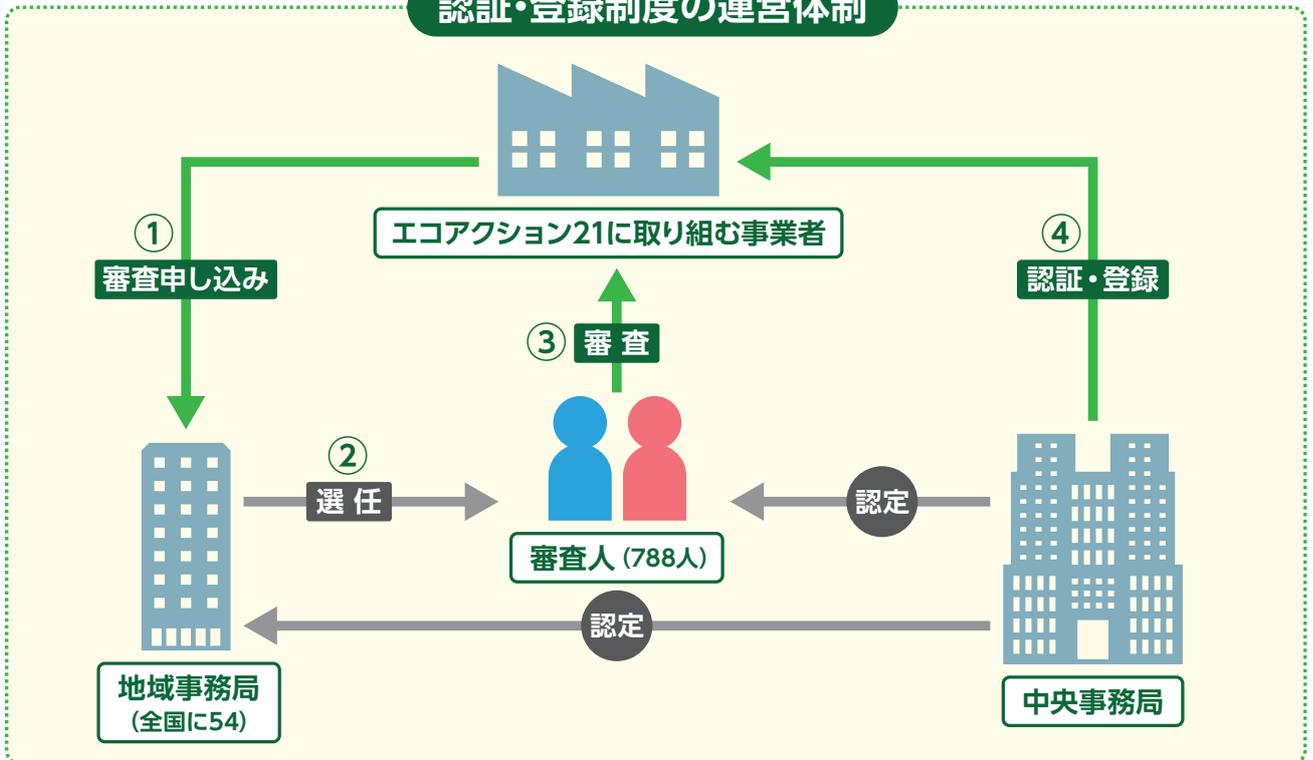


環境省

エコアクション21

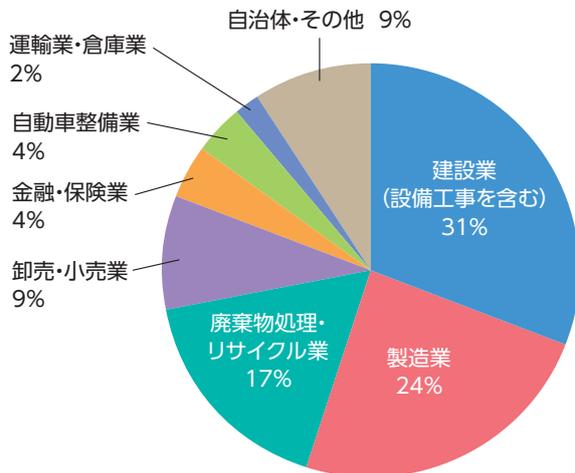
エコアクション21は、そのガイドラインと認証・登録制度によって、「事業者の環境への取り組みを推進し、もって持続可能な経済社会の実現に貢献すること」を目的としています。

認証・登録制度の運営体制



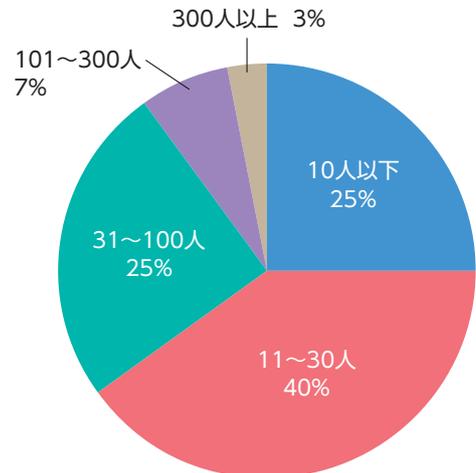
● 認証・登録事業者数の業種別割合

製造業だけでなく、様々な業種の事業者が取り組んでいます。



● 認証・登録事業者数の規模別割合

全体の90%が従業員100人以下の事業者です。



エコアクション21を選ぶ7つのメリット

総合的に進められる！

ガイドラインには『環境経営(マネジメント)システム』『環境への取り組み』『環境コミュニケーション』の三要素がひとつに統合されているため、環境への取り組みを総合的に進めることができます。

経営面での効果が期待できる！

環境経営システムを構築し、取り組みを継続的に改善していくことによって、経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底、社員の意識向上など、経営面での効果をあげることができます。

ロゴマークを使える！

自社のパンフレット、カタログ、封筒、社員の名刺等に、エコアクション21のロゴマーク(®環境省)を使うことができます。エコアクション21の取り組みを社内外に強くアピールできます。

取引条件に対応できる！

多くの大手企業が、環境への取り組みや環境経営システムの構築を取引条件の一つとする傾向にあります。認証・登録することによりこれに対応することができます。また、自治体によっては、入札参加資格審査での加点を受けることができます。

低利融資制度が受けられる！

銀行、信用金庫、信用組合など、多くの金融機関で、認証・登録事業者への低利融資制度が行われており、この制度を利用することができます。

※金融機関等によるエコアクション21関連融資については、エコアクション21中央事務局のホームページに掲載されています。

社会からの信頼を獲得できる！

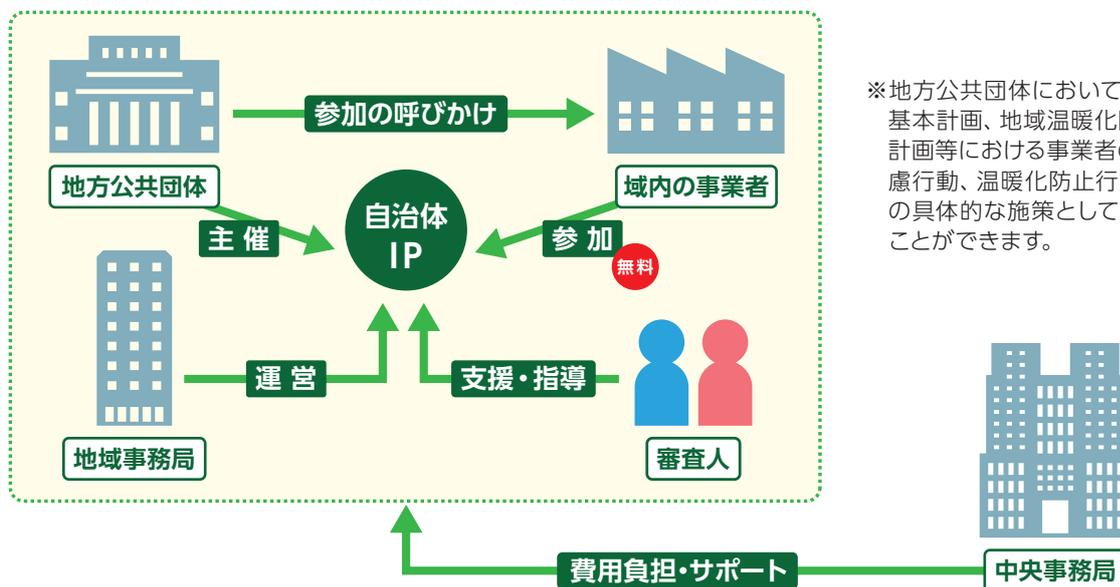
環境省のガイドラインに基づき、第三者機関の認証を受けることで、社会的な信頼を得ることができます。また、環境活動レポートを作成し、外部に公表することによって、取引先やお客様等からの信頼性が向上し、企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たすことができます。

審査人による指導・助言が受けられる！

審査の際に、エコアクション21審査人から環境への取り組みや環境経営システムの構築・運用方法について、丁寧な指導・助言を受けることができます。

エコアクション21の普及プログラムとは？

エコアクション21の普及推進を図るため、地方公共団体が主催し、中央事務局・地域事務局・審査人が協働で運営する「自治体イニシアティブ・プログラム」(自治体IP)を実施しています。地方公共団体が地域の事業者の参加を募り、地域事務局が勉強会を運営し、審査人が事業者の支援・指導を行います。必要経費は中央事務局が負担するため、事業者は無料で参加できます。



※地方公共団体においては、環境基本計画、地域温暖化防止行動計画等における事業者の環境配慮行動、温暖化防止行動のための具体的な施策として活用することができます。

「あずましい」暮らしのために未来に 引き継ごう、恵み豊かな環境を

※「あずましい」：落ち着いて心地よいという意味



平成20年の洞爺湖サミットをきっかけにして、道内の環境に対する姿勢が変わってきたように感じます。

「北海道グリーン・ビズ」のメリットである低利融資の実現は、事業者における環境配慮の必要性、重要性を理解いただいた地元金融機関の協力によるものです。この流れを止めることなく、さらに実りのあるものにしていくため、産学官民の連携による施策、取組を重視しています。

環境活動は、行政だけでは限界もあり、うまく運ばないこともあります。そこで、北海道では、環境に配慮した取組を自主的に行っている事業者の活動や商品、サービスのご紹介を通して、環境にやさしい企業や商店、工場、学校などの「環」を広げ、環境と調和する「エコアイランド北海道」づくりを進めていきたいと考えています。

北海道環境生活部環境局長 築地原 康志

世界自然遺産の知床をはじめ、やはり自然豊かな印象です

北海道は、知床や、ラムサール条約登録湿地の釧路湿原に代表されるような、豊かな自然環境に恵まれています。また、風力や太陽光、バイオマスといった多様な再生可能エネルギーを豊富に有しており、大気環境や河川・湖沼の水質なども環境基準をクリアして、道全体としての自然環境は良好に保たれています。バイオマスは、道内で酪農が盛んなこともあり、牛の排泄物を有効活用する成功例が多く、鹿追町などはその代表例だといえます。

エゾシカやアザラシなど、野生動物を管理する時代と言われますが？

観光で訪れる皆様には人気の野生動物ですが、近年の保護政策でエゾシカなどは個体数が急増し、農作物や樹木の食害など農林業に被害が出ています。アザラシについても、本来であれば回遊するはずの個体が北海道内の沿岸に定着してしまい、漁業に影響が出てきている状況です。野生動物の楽園である北海道ならではの問題ですが、今後はエゾシカであれば食用への転換、アザラシについては、適正な生息、回遊個体数に維持管理することが望まれています。

CO₂削減には北海道ならではの悩みがあると伺いました

土地柄、冬季の暖房に加えて、車による長距離移動が多い傾向にあります。そのため、やはり化石燃料への依存度は高く、一人当たりのCO₂排出量も、全国平均を越えてしまっている状況が続いています。そこで検討されているのが、北海道の豊かな森林や太陽光、風力などの再生可能エネルギーを活用したCO₂の削減です。北海道の特性を生かした取組を検証、推進していきたいと考えています。

エコアクション21には期待されているそうですね

CO₂を削減するには、道民の皆様には生活様式を変えていただき、ウォームビズなどライフスタイルを変化させていただくよう、道としても啓発に努めています。事業者に対しても同様に、ビジネススタイルの変革を促し、CO₂削減に向けた低炭素型のビジネススタイルに転換いただけるよう、地道な活動を働きかけているところです。

そのためにはエコアクション21に期待するところも大きく、北海道内の多くの中小事業者の皆様が取り組みやすい環境マネジメントシステムとして、重要な役割を担ってもらっています。



北海道のあらまし

面積：83,457 平方キロメートル(国土の約 22%)
人口：5,463,045 人(男 2,584,535 人、女 2,878,510 人)
世帯：2,727,383 世帯 市町村数：179(35 市 129 町 15 村)
トピック：北海道新幹線 H28.3 開業予定

エコアクション21を活かした取組

事業者における環境配慮の自主的な取組を誘導する仕組みとして、平成20年に「北海道グリーン・ビズ認定制度」を創設しました。大手企業を中心としたCSRの取組、大手企業主導による認証取得から、事業者自らの環境配慮行動、取組の促進を図ります。

制度の
メリット
に気づいて

事業者が
自主的・自発的
に取り組んで

EA21
普及

事業者のみならずとともに「エコアイランド北海道」づくりをめざす。
北海道グリーン・ビズ認定制度の
「優良な取組」部門に登録申請しませんか。

「優良な取組」部門は、環境に配慮した取組を実施している事業所を広く登録し、PRする部門です。

登録の対象事業所
北海道内に所在し、事業活動を行っている事業所（法人、個人、個人事業主）は、1年以上の経営に経過した取組を継続して実施している企業等の対象です。

登録標準 各部門内において段階での登録申請が可能です。

登録標準	取組項目
ランク1 環境意識の向上 E1	<ul style="list-style-type: none"> 環境意識の向上 環境教育の実施 環境配慮の取組
ランク2 環境配慮の取組 E2	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮の取組 環境教育の実施 環境配慮の取組
ランク3 環境配慮の取組 E3	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮の取組 環境教育の実施 環境配慮の取組

有効期間
登録の日から3年間となります。（更新可能あり）

登録の流れ
「優良な取組」部門に登録を希望する事業所は、取組内容が登録標準に適合していることをご自分で確認し、下記の方法で申請してください。

北海道内の事業所
(札幌市外の事業所) 札幌市内の事業所

申請先
北海道 「優良な取組」部門へ 登録申請
札幌市 「さっぽろエコメンバー」へ 登録申請

申請方法
パソコンで ホームページから「申請フォーム」に必要事項を入力して 登録してください。
郵送・FAX・持参で ホームページから「登録申請書」をダウンロードし、必要事項を記載の上、送付・持参してください。

「さっぽろエコメンバー」に登録

北海道グリーン・ビズ認定制度の
「優良な取組」部門に登録

登録のメリット
道のホームページ等でのPR
札幌市内の事業所は、市のホームページで掲載されます。
シンボルマークの使用
名称 各種印刷物 広告チラシ ホームページ等で活用できます。
金融機関での優遇融資
高信用な企業として、金融機関で優遇融資や貸付等の優遇が受けられます。
（各機関との審査があります。詳しくは道のホームページをご覧ください。各機関にお問い合わせください。）

申請先
札幌市外の事業所は
北海道グリーン・ビズ認定制度事務局
(札幌市) 〒060-0808
〒060-0808 札幌市中央区南一条西5丁目1番1号
TEL:011-241-1111 FAX:011-241-1112
http://www.greenvbiz.jp

札幌市内の事業所は
札幌市環境局 環境政策課
(札幌市) 〒060-0808
〒060-0808 札幌市中央区南一条西5丁目1番1号
TEL:011-241-1111 FAX:011-241-1112
http://www.greenvbiz.jp

エコアクション21を取得していれば
最高ランクの「ランク3」に認定

金融機関での優遇融資他

北海道商工会議所連合会では、道内の中小事業者向けに、より簡便で取り組みやすい環境規格として「北海道環境マネジメントシステムスタンダード(通称：HES)」を構築しています。道では、エコアクション21へのステップとして、エコアクション21と併せて、普及促進を図っています。

課題とこれからの取組

心・技・体を磨いていく

心=「意識・行動」+技=「技術」+体=「社会基盤(法的な整備等)」をバランスさせ、エコアクション21やグリーン化プログラムを広めて充実させていくことが課題であり、これから取り組んでいかなければいけないことだと考えています。

心

意識・行動

- ・EA21やグリーン化プログラムの普及啓発
- ・環境教育の充実

+

技

技術

- ・雪氷冷熱の利活用
- ・北海道の特徴、優位性を活かした技術開発・普及
- ・再エネによる水素製造・活用など

+

体

社会基盤

- ・環境産業の拡大
- ・再エネ、水素などの低炭素インフラの整備拡大
- ・「グリーン・ビズ促進」など環境配慮促進に向けた仕組みづくり

自然と文明が調和した 理想郷山形の実現をめざして



山形県は、蔵王、吾妻、烏海山や出羽三山(羽黒山、月山、湯殿山)などの名峰や、県土を縦貫する母なる川最上川、全国一の面積を誇るブナの天然林など美しく豊かな自然に恵まれており、また、草木塔に象徴されるように、自然の恵みに感謝し、自然と共生する文化が息づいています。

本県では、このかけがえのない豊かな自然や人と自然との調和を基調とした暮らしを守るとともに、それらの自然を資産と捉えて、活かしながら、「自然と文明が調和した理想郷山形」の実現を目指しています。

この実現に向け、県民、民間事業者、行政等が、パートナーシップを組んで環境保全活動を推進しており、県民総参加で、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会に向けた取組みを進めております。

山形県知事 吉村美栄子

山形県におけるエコアクション21の取組みについて

環境分野における施策の展開方向・将来像

本県には、草木塔(※)にみられるような人と自然との望ましい関わりを尊重する精神文化とそれに基づいた県民の暮らしが受け継がれています。このような精神性のもと、森林の保全や水資源の確保などを進めつつ、人と自然とのつながりを大切にしてきた県民のこれまでの様々な環境活動をより一層高めていきます。低炭素社会の実現に向けた地域システムづくりに取り組み、経済や地域の活力向上に結びつけ、国内外を牽引する「環境先進地山形」を形成していきたいと考えています。

※草木塔(そうもくとう) 草木をはじめとした自然の恵みに対する畏敬・感謝の心から、伐採した草木の魂の鎮魂などのため建立されたと考えられる石造物。現存するものうち、多くが山形県に所在。

環境施策を推進する上で、エコアクション21が果たす役割

低炭素・循環型社会を構築していくためには、事業者が自らの事業活動を自主的に見直し、これまで以上に環境への負荷が少ないものに転換していくことが必要です。そのために環境マネジメントシステムの導入をすすめ、事業者の自主的な環境への取組みを推進することが重要だと考えています。中小企業でも取組みやすい環境マネジメントシステムであるエコアクション21は、こうした事業所の取組みを後押しするものと、強く期待しています。

環境基本計画におけるエコアクション21の位置づけ

第3次山形県環境計画に掲げた6つの基本目標のひとつに「地球温暖化を防止する低炭素社会の構築」を設定しており、この中で事業所に対しては、二酸化炭素排出削減に向けた自主的な計画策定と取組みの促進をお願いすることとしています。エコアクション21については、取得事業所数の数値目標を設定し、県内市町村やNPO等と連携して普及拡大に取り組んでいます。

「山形エコアクション21」について

「山形エコアクション21」とは、全国統一基準であるエコアクション21に、バイオマスエネルギーの導入や、県産品の優先購入など地産地消の推進、地域環境教育の実施、あるいは最上川の水環境保全活動への参加など、山形県ならではの独自の要求事項を追加したものになります。山形に根を下ろし事業活動を営む企業が、「山形エコアクション21」による地域の環境保全活動を実践することにより、地域への恩返しを行っていくという、まさに“郷土愛”が育む「山形らしい」地域密着型の環境保全システムとなっています。



山形県のあらまし

面積：9,323.46 平方キロメートル(東西約 97km、南北約 164km)

人口：1,151,863 人(男 552,490 人、女 599,373 人)

世帯：392,853 世帯 市町村数：35(13 市 19 町 3 村)

特産品：さくらんぼ、メロン、西洋なし(ラ・フランス)、米、牛肉、酒、ワインなど

主なまつり：山形花笠まつり(8月 5-7 日：山形市)、新庄まつり(8月 24-26 日：新庄市)、

黒川能王祇祭(2月 1-2 日：鶴岡市)

エコアクション21を広めるために

地域に根ざした県独自の環境マネジメントシステム『山形エコアクション21』を始めました。



エコアクション21に山形県の特徴ある環境への取り組み事項
（「最上川をきれいにする」など）を追加するスタイルを採用しています。

EA21 (山形県内)

山形EA21

66 事業所
(H27.1現在)

49 事業所
(H27.1現在)

郷土愛を下地に認証取得の意欲喚起に成功
1項目の選択制で中小企業にも
取り組みやすい設計

山形EA21ガイドライン

EA21ガイドライン + 追加要求事項

1. 新エネルギー使用の拡大

・バイオマス・雪氷熱設備導入

2. グリーン購入

・県リサイクル製品認定制度の製品を優先購入

3. 地産地消の推進

・県産品の優先購入

4. 輸送に伴う環境負荷の低減

・バイオディーゼル使用、エコ通勤の実践

5. 環境教育の実施

・従業員・消費者にマイバッグを薦める
・環境教育のための教材提供、施設設置

6. 環境安全

・県内河川、森林等の保全活動に従事等
・環境団体(最上川フォーラム、保全協等)に参加
・河川アダプト制度に参加

山形エコアクション21を起点に、環境に積極的な取り組みを
検討する機運も生まれています。

- ・やまがた森林ノミクス：県及び県内全市町村が参加する「オール山形」体制で推進
(木質バイオマス資源を活かした産業振興・地域活性化施策)
- ・山形県環境保全協議会会員数：198社(H27.1現在)
- ・美しい山形最上川フォーラム会員数：4,330名(個人・団体 H26.11現在)
- ・河川アダプト制度参加団体数：380団体(H22)→476団体(H25)

山形エコアクション21に関するお問い合わせは <http://eny.jp/>まで

他にも.....

ISO14001と同じ

加点

ポイントに

建設工事入札制度における入札参加者等級格付け
時における加点をISO14001と同じ+10点にして、
エコアクション21取得を促進しています。
山形市においても、加点制度を採用しています。

導入支援

平成22～24年度の3カ年で導入補助金制度を実施しました。
導入補助金による取得実績
平成22年：14件 平成23年：6件 平成24年：7件

周知活動

エコアクション21地域事務局(NPO法人環境ネットやまがた)
が開催する説明会などへ同席して県の補助・支援制度を紹介、
知らなかった事業所に知ってもらう努力を続けています。
山形エコアクション21のパンフレットも周知支援の
一環として県が作成

課題とこれからの取り組み

認証取得のメリットを周知

引き続き県内事業所への導入を呼びかけるとともに、特に、建設業の事業所に対して県建設工事競争入札参加資格の等級格付け時における加点制度などのメリットを周知して、加入を促進していきます。また、エコアクション21に限らず、環境改善に積極的な事業者に対して表彰を行うことなども、周知の一環と考えています。

入札加点制度のしくみの拡大を検討

将来的には、県の物品や役務の調達において、環境配慮・地球温暖化対策等を推進している企業を評価・優遇するしくみを導入できないか、検討を始めています。

市町村やNPOとの連携強化

加点制度における山形市の動きをきっかけに市町村との連携を強めていきます。また、環境ネットやまがたと協働して「認証拡大アクションプログラム」を進めています。誰か一人ではなく、NPO、県、市町村が“たし算”で県内の環境全体を考えていきます。

群馬の自然と環境を自分たちで守り、 環境負荷の少ない低炭素で循環型の社会をつくる



群馬県は、尾瀬に代表される貴重な生態系、県土の約2/3を占める森林、利根川を軸とする多くの清流など、美しく豊かな自然を有しています。

私たちは、この自然のなかで暮らし、産業を発展させてきました。一方で、今日の社会経済活動は、生活に利便性や豊かさをもたらすと同時に、温室効果ガスによる地球温暖化、貴重な生態系の減少・喪失、水環境の悪化および廃棄物の大量発生など、さまざまな環境問題を引き起こしています。

これらの環境問題に対応し、本県のすばらしい自然環境を守り育んでいくことは、私たち一人一人の責務であり、環境への負荷が少ない低炭素で循環型の社会の実現に向け、具体的な行動や取組を進めていくことが必要です。事業者の皆様におかれましては、自主的、積極的な環境経営を実行いただけるよう、エコアクション21を含めた環境マネジメントシステムの導入が望まれています。

県民一人一人が役割を認識し、協働することによって、本県の豊かな環境を未来に引き継いでいきたいと考えています。

群馬県知事 **大澤 正明**

環境マネジメントシステムの普及導入を急がれていると伺いました

人口当たりの乗用車保有台数が全国一である群馬県では、公共交通機関の輸送分担率も、全国平均に比べて低く推移しています。さらに、産業・業務部門からの温室効果ガス排出量が増加しており、平成27年3月に改定した「群馬県地球温暖化対策実行計画」の目標数値を達成するためには、省エネ技術や再生可能エネルギーの普及はもちろん、環境マネジメントシステムの普及導入を積極推進していくことが急務だと考えています。

導入する企業の拡大に、県独自で工夫されているそうですね

県内の自然環境保全と、温暖化防止を進めていくためには、環境に配慮した事業活動が必要不可欠と考えています。そのためには広く県内事業者へ環境マネジメントシステムを導入いただくことが望まれているのですが、とりわけ中小の事業者の方からは「やる人がいない」「担当できる人がいない」「人手がない」の声が上がり、思い通りに普及できていない現状があります。そこで、本県では、環境経営のはじめの一歩として「環境GS認定制度」を運営しています。

エコアクション21へのステップアップも期待できる制度と伺いました

「環境GS認定制度」はまず門戸を広げることを目的にしており、環境経営への取り組みを理解され、さらに積極的に取り組んでいただける事業者にはエコアクション21へステップアップしていただけるよう、「エコアクション21認証・登録支援事業」を用意、希望される事業者は無料でコンサルティングを受けることができます。このプログラムへの橋渡しの位置づけとして事前の説明会も準備しており、中小の事業者におけるスムーズなエコアクション21への移行を支援しています。

導入された企業からは、感謝の声が届いているそうですね

環境マネジメントに取り組むことは、温室効果ガスの排出を削減するだけではありません。省エネ・節電を進めることができ、省コスト・経費節減にもつなげていくことができます。こうしたメリットを情報誌などで積極的に告知していくとともに、取り組むきっかけのつかめない中小の事業者に対しては「環境GS推進員派遣」を制度化、実施して、EMSへ取り組む事業者の掘り起こしにも努めています。県の施策を経て環境マネジメントシステムを取り入れた事業者からは、「経費が大幅に削減できた」「会社経営に大きなプラスになった」と、うれしい言葉をいただいています。



群馬県のあらし

面積：6,362.28 平方キロメートル
人口：1,973,643 人(男 971,848 人、女 1,001,795 人)
世帯：780,040 世帯

特産品：牛肉、豚肉、キャベツ、こんにゃく、下仁田ネギ、キノコ類、生糸 など
主な産業：食品、家電、自動車関連 など

エコアクション21を活かした取り組み

群馬県では、エコアクション21取得までの“道のり”を支援、「環境GS認定制度」を起点に、環境に配慮した企業活動を段階的に進められるように取り組んでいます。



エコアクション21を広める取り組み

環境GS認定事業者に対して、「事前説明会」と「自治体イニシアティブプログラム」の機会を無料で提供。スムーズにエコアクション21へ移行していただけるように工夫しています。



課題とこれからの取り組み

認定事業者のメリット充実

中小事業者へ環境経営を更に普及していくためには、取組の意義を広く伝えていくとともに、認定事業者への支援策を充実したり、優良事業者名を公表したりするなど、取組によるメリットを増やしていく必要があると考えます。

事業者とのコミュニケーション強化

認定事業者からなる「ぐんまエコアクション21倶楽部」などの機会を有効利用し、取得された、又は取得される企業と直接コミュニケーションを図るようにより、「県の顔が見えるような」活動をしていきたいと考えます。

市民参加型の環境行政で、 誰もが「住み続けたい」と思えるまちに



私どもの八千代市は、緑にあふれた街です。市の北半分には下総台地の緑豊かな自然があり、南側は、そうした緑の景観に配慮して森を残しながら、自然環境に恵まれた市街地を形づくっています。一方で、首都30キロ圏内という利便性から、首都圏のベッドタウンとして急激に発展してきました。

八千代市の自然豊かな環境の中で育った市民の皆様は、身の回りに自然があることが当たり前のことであると思い、過ごしてきたわけですが、今、この貴重な自然が失われつつあります。八千代市の豊かな自然を次世代に引き継ぐために、市長として環境保全計画を基本に据えて、さまざまな環境保全施策を検討、推進しているところです。

さらに、市としてエコアクション21の認証を取得することで、市民や事業者の方々にも広くエコアクション21の考え方を理解いただき、八千代市がめざす環境共生都市の実現に向けた自主的なご協力をお願いしています。

千葉県八千代市長 秋葉 就一

バランスの取れた環境共生都市をめざしていると伺いました

八千代市は南に都市部と北に里山を保持する、生活環境のバランスに大変恵まれたところです。このバランスを維持・継承していくことが、八千代市の特性を考えた環境への取り組みの基本と考えています。かけがえのない谷津・里山の多面的な環境機能を持続的に保全・再生して次世代に引き継ぐことにより、都市と農村が共生し交流する八千代市らしいまちづくりをめざします。

市自らがエコアクション21の認証を取得されていますね

地球温暖化は、文字どおり地球規模の問題とされていますが、グローバルな対応だけすればいいというわけではありません。この八千代市に暮らす市民の皆様、また企業活動をされている事業者の方々にとって日々の問題であり、将来の問題です。次世代に向けた環境保全の大切さを認識していただくためにも市が率先垂範、全員参加型であるエコアクション21を進めていくべきだと考えています。さらにそれが、市内事業者のエコアクション21認証取得につながってくれるとうれしいです。

取得のきっかけは市民との輪の中から生まれたとか？

外部機関として「環境保全計画推進会議」があります。企業関係者や学識者、市民など、さまざまな立場の方が集まって、八千代市の環境行政に対して自由に意見を交換できる場になっています。ここで提案を受けたことがきっかけで、市としてエコアクション21の認証取得につながりました。地域に根ざしたエコアクション21にふさわしいきっかけではなかったかと思います。

エコアクション21のメリットを実感されていると聞きました

事務局となっている環境保全課の環境政策室からは、エコアクション21の審査人制度に助けられていると聞いています。多角的なアドバイスをいただきながら、これまで「電子入札」や「カードによる口座振替」などを実践してきました。今後、各部署では、業務に関連した環境活動を進めていかなければなりません。これからも審査人の方と協力しながら、新しい環境活動を推進していきたいと考えています。

八千代市のあらまし

面積：51.39 平方キロメートル(東西 8.1km、南北 10.2km)

人口：194,267 人(男 96,198 人、女 98,069 人) 世帯：83,355 世帯 (平成 27 年 2 月末日現在)

特産品：なし、にんじん、ほうれんそう、特別純米酒「八千代桜」など

EA21 認証・登録番号：0003458

(最新の環境活動レポートは  <http://www.ea21.jp/list/pdfn/0003458.pdf> をご覧ください)



エコアクション21を活かした取り組み

市民や地域企業を巻き込んで里山を保全

英国発祥の“グラウンドワーク”を手本にした「はたらの里づくり」では、市民や地元企業など地域の関係者がパートナーシップを取りながら、自然環境の保護をめざして活動しています。「谷津・里山保全計画」も同じように、自治体だけではなく協働で整備・保全を進める、地域の自然を地域で守ろうという八千代市ならではの環境活動になっています。



谷津・里山の風景

「市民・事業者とともに実践する」環境活動

環境保全計画の基本方針に「市民・事業者とともに実践する」を追加したことで、環境活動を推進する過程で、エコアクション21の啓発を図っています。

カタログを使ってグリーン調達率をUP!

平成17年度から「八千代市グリーン購入基本方針」策定、グリーン購入を推進しています。そこで、エコマーク商品を誰もが迷わず購入できるように配慮されたカタログに注目しました。各課に配布することで、グリーン購入についての意識も高まり、結果的にグリーン購入率アップにつながりました。

エコアクション21で
頑張ってます

市民に対するリサイクルの推進

紙やペットボトルをはじめとした再資源可能廃棄物を、平成10年度から「1回/週」の頻度でリサイクル回収(逐次拡大)。さらに、民間の協力を得ながら、市内指定場所に廃食油を持ち寄ってもらい、燃料化するという試みも始めて、市民のリサイクル意識を高める努力をしています。

エコアクション21の普及を進めていく中で、「八千代市らしく」を忘れず、市民参加・全員参加の環境保全に取り組んでいます。

エコアクション21を広めるために

「啓発」と「推進」の両輪で、エコアクション21の普及をめざしています。

●これからエコアクション21を取得しようと考えている事業者には

エコアクション21普及セミナー 「八千代塾」を通じた啓発

八千代市としてエコアクション21を取得した経緯をお話することで、環境マネジメントやエコアクション21への理解と認識を深めてもらいます。

●すでにエコアクション21を取得されている事業者には

資金融資額の増額を通じた推進

商工課と連携、エコアクション21等の環境マネジメントシステムを取得した企業に対して新たに「環境経営応援資金」を創設、市内取扱い金融機関を通じ、融資申込可能枠の拡大などの取り組みを始めています。

成果とこれからの取り組み

子どもたちに環境の心が芽生えました

市がエコアクション21を取得していることで、市立学校での「化学薬品」の取り扱いや適正な管理方法を周知・徹底しています。そうした環境活動がきっかけとなって“環境”の目線が生まれ、「子どもサミット」で環境がテーマとして採り上げられたり、環境への意識が深まっています。

業務に関連した環境活動

自治体の特性として、どうしても環境活動が「エコオフィス化」に偏る傾向があります。地域事務局や審査人の方にご協力いただきながら、できれば業務改善に絡めた施策を見つけ出して、両輪がしっかりと機能した環境活動をめざしていきたいと考えています。

「かしこく」「とくする」しくみで、美しく豊かな信州を未来へ

長野県では、県民の財産である美しく豊かな自然(雄大な山岳、豊かな森林、清らかな水など)をしっかりと未来に引き継ぐことが大変重要と考えています。そのために、持続可能な地域社会の実現が強く求められており、県は省エネや自然エネルギーの推進を、その実現に有効な手段と位置付けています。

環境活動を持続させるには、地域に経済と環境の好循環をつくりだすことが必要です。こうした視点から長野県では、平成25年度から「長野県環境エネルギー戦略」をスタートさせました。基本目標に「経済は成長しつつ、温室効果ガス総排出量とエネルギー消費量の削減が進む経済・社会構造を実現すること」を掲げ、経済と環境の両立と好循環を目指しています。

さらに、事業者が省エネなどの取り組みを進めるためには、環境管理システム「エコアクション21」は有効なツール(道具)であると考え、その導入・構築をさまざまな形で支援しています。

長野県環境部環境エネルギー課

啓発中心から実効性重視へ～新しい環境政策の形

「長野県環境エネルギー戦略」では、平成2年度を「基準年度」として、各指標の数値・実績を比較しています。エコアクション21の視点から県内の温室効果ガス排出状況について見てみますと、平成23年度は約1,617万トンであり、前年度を下回ったものの、基準年度比で5.6%増加している状況です。そのため、従来の県民計画(啓発事業中心)の効果を検証して、実効性のある施策を構築、「長野県環境エネルギー戦略」として、平成25年度からスタートさせました。

県民総ぐるみで節電・省エネ

平成25年3月に地球温暖化対策条例を改正し、家庭、事業活動および建築物に関する新たな省エネ制度の運用を平成26年度から開始しました。そして、「省エネを制度=しくみとして定着させる」ことを目的に、県民総ぐるみで夏季・冬季の節電・省エネ運動に取り組んでいます。その運動の1つとして「信州クールシェア&あったかシェアスポット」を推進しており、参加されている県民の方はもちろんですが、シェアスポットに協賛いただいている企業の方からも、「人が集まることで宣伝効果がある」と経済効果を認識いただいております。「がまん」や「無理」に頼らない「かしこく」「とくする」節電・省エネの定着を推進しています。

全国初。県内事業者の範として「エコアクション21」を取得

「環境の世紀21世紀」において今、事業活動の規模や業種を問わず、環境負荷の低減が求められています。そうした中、環境管理に関する国際規格ISO14001の認証取得が進んでいますが、認証取得に当たっては、規格が難解で、人的および資金的負担が大きいことが大きな壁となっています。環境活動計画などを効果的に推進していくためには、進捗管理をするツール(道具)が必要であり、県では取組の効率性・実効性を高めていくため、平成13年2月7日から取得していたISO14001の認証を取り下げ、平成19年5月15日付で「エコアクション21」を取得しました。県内事業者には、本県が自治体取得第1号ということで刺激になり、その後の認証、取得にも結びついたのでないかと考えています。

さらなる参加と連携を～今後に向けた環境活動方針

本県の環境行政の基本的な考え方は、あらゆる主体の参加と連携によって環境保全活動を幅広く推進することにあります。今日の環境問題は、身近な生活環境から地球規模の問題まで多岐にわたるため、行政、県民、事業者、各種団体などの参加と連携は不可欠です。それぞれの施策の実効性をいかに高めていくか、県民の参加と連携をいかに進めるかが、これからの課題だと考えております。



しあわせ信州

長野県のあらまし

面積：13,562 平方キロメートル(東西約 120km、南北約 212km)

人口：2,103,802 人(男 1,022,322 人、女 1,081,480 人)

世帯：812,201 世帯 市町村数：77(19 市 23 町 35 村) (平成 27 年 2 月 1 日現在)

しあわせ信州とは

<http://www.shiawase-shinshu.jp/about>

環境負荷削減への取り組み

「長野県環境エネルギー戦略」を軸に、省エネを“しくみ”として県の日常に定着させることを目指しています。



規制的手法(法令で大気や水環境、廃棄物など環境に負荷を与える行為を規制)だけでなく、経済的手法(価格を通じて行動を促進)、情報的手法(情報を提供することで行動を促す、本県の省エネ制度など)、教育的手法および誘導的手法(補助金等)を組み合わせることで効果をあげることが重要です。そこで、これまでの教育的手法や誘導的手法の施策に加えて、経済的手法や情報的手法を重視した「啓発中心から実効性の高いしくみ」を構築、実践しています。

エコアクション21を広める取り組み

長野県では、エコアクション21認証・登録を検討する事業者を、さまざまな支援策、関係施策で応援しています。

研修会

中小企業等を対象にエコアクション21の導入・構築に向けた研修会を実施しています。
(一般社団法人 長野県産業環境保全協会に業務委託して実施)

応援助成金

一定の要件を満たして県内に工場等を新・増設、かつエコアクション21またはISO1400の認証を取得した場合に、ものづくり産業応援助成金として生産設備取得価額の5～15%以内を助成します。

加点

エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証・登録を受けた事業者は、県建設工事入札参加資格で加点されます。

低利融資

県内の中小企業者が行う環境マネジメントシステムの取得(更新を含む)に要する費用に対し、通常の金利よりも低利での融資をあっせんします。

優良認定

通常よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を都道府県・政令市が審査して認定する制度において、エコアクション21やISO14001等の認証を受けていることが優良基準の一つとなっています。

さらに……

県内の市町村では、エコアクション21認証・登録を検討する事業者を、さまざまな支援策、関係施策で応援しています。

塩尻市 環境ISO等認証取得事業補助金

岡谷市 環境経営システム構築支援事業補助金

千曲市 環境改善促進事業

宮田村 エコアクション21認証取得事業補助金

伊那市 環境マネジメントシステム認証取得支援

茅野市 環境マネジメントシステム認証取得支援

ほどよく都会でほどよく田舎なまちは もったいないをキーワードに環境日本一をめざします



豊かな緑、そして瀬戸川、朝比奈川の恵みなど、自然に囲まれた四季折々の美しさが際立つまちが藤枝市です。先人から引き継いだ恵まれた環境の中で、地域に根差した伝統文化を大切に守りながら調和のとれた産業を育み、郷土とともに発展してきました。「ほどよく都会 ほどよく田舎」な本市は、まちと里がバランスよく整備され、住みやすい都市になっています。

こうした環境を守り、維持していくためには、CO₂削減や温暖化防止、PM2.5など国レベル、世界レベルの課題が並ぶ中、まず足元から行動を起こさなければなりません。そのためには、市民一人ひとり、事業者、行政のすべてが環境問題を自分のことと捉え、主体的に取り組む必要があると考えています。

藤枝市民の環境意識は高く、その取り組みは、各家庭でできる身近な内容から、里山保全、河川環境や美化清掃活動まで広範囲にわたっています。当市の市民・事業者・行政が一体となって「もったいない」をキーワードに「環境日本一のまち」をめざす取り組みが、市内に留まることなく、広域の環境行動をリードする存在になればと思っています。

藤枝市長 北村 正平

「環境日本一のまち」をめざしていると伺いました

藤枝市では、日本一をめざして取り組むべきことに「健康」「教育」「環境」「交通安全」を挙げ「4K」と名付けています。市の取り組む全事業には、この4Kの理念・精神が盛り込まれており、当市の事業すべてが環境に関連していると言っても過言ではありません。その上で、市民・事業者・行政が一丸となってめざすべき姿について、各主体の意識統一を図るため、平成21年12月に「もったいない」都市宣言を行い、「環境行動都市・ふじえだ」「環境日本一のまち」をめざしていくと、内外に宣言しました。

環境問題への対策としてのエコアクション21についてお聞かせください

藤枝市内のCO₂排出量のうち約8割が事業者からの排出であり、事業者の環境に配慮した事業活動は、必須かつ喫緊に拡大されていくべきと考えています。とは言え、その活動は事業者自らの自覚と責任によって行い継続されていくことが望ましく、エコアクション21のマネジメントは、事業者が取り込む行動として最も有効な手段であると考え、藤枝市としましては、市内事業者へ導入を勧めているところです。

環境基本計画にもエコアクション21を活用しているそうですね

藤枝市環境基本計画では、めざす環境像を「もったいない」を実現する環境行動都市・ふじえだ、基本理念を「無駄のない暮らしの実現」、「低炭素社会の実現」、「地球市民としての行動」と定めています。基本目標でもある「地球にやさしいまちづくり」の中に地球温暖化対策の推進を位置づけ、市の事業者に対するエコアクション21の導入、取り組み支援などを行っています。エコアクション21は、事業者の環境マネジメントを行う上でのツールとしてだけではなく、市民・事業者・行政が連携して「環境行動都市」をめざすためのツールにも成り得るものと期待しているところです。

今後に向けた環境活動の方針、そして藤枝市の未来についてお聞かせください

市内の大規模事業所の一つである市役所自らが常に率先して環境行動を起こし、今ある環境を後世へと繋ぐ取り組みを実践し続けていきたいですね。環境の大切さに「気付き」、「学び」、そして「行動」をする日本一の環境行動都市の実現を目標に、市民・事業者・行政が一体となって取り組みを展開していく。そして、藤枝市に関係するすべての人が環境に関心を持ち、市民・事業者・行政がそれぞれの立場でそれぞれにできる最善の行動を共に実践している市でありたいと願っています。



藤枝市のあらまし

面積：194.03 平方キロメートル

人口：146,427 人(男 71,701 人、女 74,726 人) 世帯：56,300 世帯

特産品：藤枝茶(藤枝かおり、藤枝めぐみ)、朝比奈玉露、みかん、筍、しいたけ、瀬戸谷コロッケ、おかべ焼きそば、藤枝朝ラーメン、藤枝桐タンス、家具、木工製品、花火、藤枝だるま／杉錦・志太泉・喜久酔・初亀(日本酒)

イベント：藤まつり、玉露の里お茶まつり、藤枝花火大会、高根白山神社古代神楽、せとやまるかじり、滝ノ谷不動峡もみじまつり、滝沢八坂神社田遊び、びく石山開き、金比羅山・瀬戸川桜まつり

エコアクション21を“事業者の取り組み”だけでは終わらせない!



藤枝もったいない倶楽部の存在

市民活動団体や事業者、個人等の会員を募り、環境に関する情報提供・交換の場として、「藤枝もったいない倶楽部」を設置しています。エコアクション21取得事業者には、情報発信の場を得ることで地域社会との関わりや信用を得るきっかけとなることから、この倶楽部への登録を勧めています。

市の取り組みを紹介する小冊子「もったいない」チャレンジecoライフ

企業の取り組みを広く市民に発信

エコアクション21は事業者内で完結させがちですが、外部に発信してこそ信頼を得る手段となり、事業者の新たな商品価値にもつながっていくと考えています。そこで、承諾していただいた事業者については、環境活動レポートを市HPに掲載するほか、市内の図書館にエコアクション21関連書籍と共に環境活動レポートを配架し、情報発信の一助としています。



エコアクション21を広めるために

市自らが率先してエコアクション21を認証登録、啓発効果を高めるとともに、「途切れない支援」=「エコアクション21を継続してもらう工夫」として、認証登録料及び更新登録料を補助しています。

10万円
(全額)

ea21新規取得

0万円

ea21更新 (1回目)

5万円
(1/2の額)

ea21更新 (2回目)

「更新しなくてもイイ」から「更新した方がイイ」へ

※従業員数11人以上300人以下の場合

ほかにも……

- ・ 認証取得セミナー(イニシャティブプログラム)の実施
現在の環境問題を知るところから、認証取得に向けた実務的な講座を開いています。
- ・ 「環境優良事業所」の表彰
エコアクション21認証取得事業者に対して、「環境優良事業所」と記した楯を贈呈しています。
- ・ 設備投資資金利子補給金交付制度
- ・ 公共工事の総合評価における加点
- ・ 認証取得事業者フォローアップセミナーの実施
認証取得後、取り組み継続への支援策として実施しています。



イニシャティブプログラム



フォローアップセミナー

藤枝市役所とほぼ同時期に商工会議所が認証・取得していることは、市内企業に対するエコアクション21の広報媒体として非常に効果が高いと考えています。商工会議所やエコアクション21地域事務局等、各方面にご協力いただきながら、厚みのある支援体制を整えています。

環境にやさしいまちづくりは市民とともに 日本一さわやかなまちをめざして



大阪狭山市
マスコットキャラクター
「さやりん」

大阪狭山市は、『古事記』や『日本書紀』にも登場する現存する日本最古のため池「狭山池」を市の中心に抱く、水と緑豊かな田園都市です。「狭山池」には、市の木である桜並木が続き、長く市民の憩いの場として愛されてきました。しかし、大量生産・大量消費の社会経済が進んだ結果、地球規模での温暖化が急速に進行している中、市としても率先してこうした問題に取り組み、温暖化防止対策に努めなければいけないと考えています。

本市は、環境に対する市民の意識が非常に高いまちであり、市民主体の清掃活動である「狭山池クリーンアクション」が環境大臣や国土交通大臣から表彰されるなど、環境への取り組みが自発的に進んでいます。さらに、市職員有志による清掃活動も定期的に行われ、大阪狭山市がひとつになって、環境問題に向き合っています。これからも市民と行政が協力し合い、「狭山池」を中心とした環境に配慮したまちづくりを積極的に推進していきたいと考えています。

大阪府大阪狭山市

「狭山池」が環境活動のけん引役にもなっているようですが

本市のシンボルともいえる「狭山池」ですが、2015年3月に国の史跡に指定され、2016年には築造から1400年の節目を迎えます。春になると周囲の桜が花を開き、「桜まつり」や、本市最大のイベント「狭山池まつり」が毎年盛大に催されています。歴史ある「狭山池」がさらに100年、200年と歴史を紡いでいけるよう、市民の皆様と一致協力して環境を保全し、かけがえのない財産を未来に引き継いでいきたいと考えています。

自然環境の保護・保全を市民協働で実践されています

本市は、市民活動がとても活発で、それが大きな自慢となっています。市民がとても元気なまちとして、「狭山池まつり」も、市民主導のイベントで大いに盛り上がっています。これが環境活動にもつながっており、「自然環境の保護は市民協働で」の掛け声とともに、さまざまな環境保全活動が市民主体で行われています。自分たちのまちは自分たちできれいにするという思いが浸透しているのかもしれない。市民の環境への思いや意識が高いまちであると自負しています。

市としてエコアクション21を取得されていますね

環境の問題は、私ども行政だけが取り組んだところで、すぐに解決できる問題ではありません。環境負荷軽減に向けては、指導や規制といった行政庁としての役割はもちろんですが、一事業者として地域のリーダーシップを発揮し、率先垂範が必要と考え、エコアクション21を導入しました。これからも市民や事業者の皆様にも範を示しながら、ともに手を携えて取り組む姿勢が大切と考えています。そのためにもエコアクション21認証・取得は、本市にとって重要な取り組みです。

円卓会議からユニークなアイデアが生まれていると伺いました

本市では、市民の皆様とさまざまな活動を進めていますが、その特徴的な活動に、「まちづくり円卓会議」があります。これは、地域内の自治会や住宅会、NPO、市民活動団体、事業者などが中学校区を単位として自主的に一堂に会し、まちづくりについて話し合う場として創設した制度です。「地域のことは地域で考え、実践する」を軸に、「花いっぱい運動」や「河川のクリーンアップ」、「菜の花プロジェクト」といったユニークな環境活動が生まれてきました。大阪狭山市らしい取り組みとして、これからも続けていきたいです。



大阪狭山市のあらまし

面積：11.92 平方キロメートル(東西 2.4km、南北 7.0km)
人口：57,766 人(男 27,495 人、女 30,271 人)
世帯：24,520 世帯
特産品：大野ぶどう

エコアクション21を活かした取り組み

電気自動車の普及促進

化石燃料の使用量を減らす取り組みとして、公用車に電気自動車を3台導入。さらに、電気自動車普及の足がかりとして、市役所敷地内に「急速充電ステーション」を設置し、電気自動車を利用される市民の皆様にも広く活用いただいています。



この電力は、庁舎の照明や空調などと併せて、庁舎屋上に設置した太陽光発電によってまかっています。

未来の担い手に環境教育



市としてエコアクション21を取得している利点を活かして、市立小・中学校での環境教育に力を入れています。

エコアクション21の考え方・しくみを水平展開

環境意識を水平展開

各部署での事務・事業遂行の際に、環境配慮の視野に立った企画立案に努めるようになりました。

マネジメントシステムを水平展開

評価手法を内部統制事務にも取り入れて実践しています。

エコアクション21を広めるために

近隣市町や地域事務局とも協力して普及セミナー(イニシアティブプログラム)を実施しています。

参加事業者数の目標を3社/年に設定、周知活動に取り組んでいます。

参加を促すために省エネ、節電、環境経営などのテーマを織り交ぜています。

**普及
セミナー**

生産性の向上や目標管理の徹底など、経営的なメリットを説明しています。

取り組みを始めようとする事業者が出てきました!

課題とこれからの取り組み

市内事業者への普及拡大に向けて

エコアクション21導入のメリットや魅力(目標管理手法を経営に活かせる・環境への配慮・省エネによる経費節減・環境報告レポート作成による取引先への信頼性の向上・ISO14001に比べて安価など)をしっかりと伝えて、市内事業者の取得促進を図っていきたく考えています。

自然と人のハーモニー みんなで創る え～まち福山



温暖化対策として福山市独自の取り組みがあると伺いました

「福山市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、市域全体から排出される温室効果ガスを、2020年度までに40%削減するという目標に向けて取り組んでいます。そのための実行プランとして、温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコトライ」を提案。協働をベースに家庭・地域・学校や事業者、行政がスクラムを組んで、地方から地域温暖化対策に取り組んでいます。その中で、事業者への支援のひとつとして、エコアクション21など環境規格の取得補助を行っています。

環境問題への対策としてエコアクション21をどのように位置づけられていますか？

本市では、市民、事業者、行政が協働して、温室効果ガス排出量を削減、エネルギーや交通機関が効率的に利用できる環境負荷の少ないまち、さらに省エネルギー対策・新エネルギー利用が進んだ環境先進都市をめざしています。その中で、事業者の環境配慮行動を促進するため、中小事業者等に対して取得費用の一部を補助するなどして、エコアクション21をはじめとした環境規格の取得を支援、市内事業者のEMS取得を促進しています。

環境の面から考えたとき、福山市の未来がどうあるべきか教えてください

望ましい環境像として「自然と人のハーモニー みんなで創る え～まち福山」の実現を掲げています。「自然と人のハーモニー」には、人が自然から学び、自然にやさしいライフスタイルに転換することで、自然と人が調和した本来あるべき姿を取り戻すことをイメージ。「みんなで創る」には、市民、事業者、行政がみんなで一緒に環境を守り、育てていく姿をイメージしており、少しでもその姿に近づいていきたいと願っています。

域内事業者へのEMS普及に向けてのお考えをお聞かせください

「市民・事業者・行政」の3プレイヤーによる協働、これが福山市の市政の基本になっています。環境問題にあっては、温室効果ガスの削減に大きく貢献いただきたいのが中小事業者の皆さんです。市としても「中小事業者さんに向けて何かをしたい」との思いから、EMS取得の助成を積極的に行っています。これからも「事業者の皆さんが何を求めているか」を常に意識して、適切な支援策を検討、展開していこうと考えています。

エコアクション21を活かした取り組み

温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコトライ」の策定に当たり、エコアクション21等の認証取得費補助をひとつのアクションアイテムに設定して、事業者の温暖化対策に向けた行動を後押ししています。



エコアクション21を広める取り組み

「中小事業者のために何かしたい」を合言葉に、支援施策を維持、継続しています。

補助金制度の維持と適用枠の拡大

EMSの認証取得を促進するだけでなく、取得した後に認証を定着させることも重要であり、市としてはこの部分にもフォローしていく必要を感じています。そのため、これまで新規取得時のみだった補助金の支給を認証更新時にも受給できるように制度を改定し、域内中小事業者のEMS構築を長く支援できるようにしました。※補助は新規取得時または更新時のどちらか1回のみ。

ふくやま環境賞

市民や事業者を対象に、優れた環境活動・取り組みに対して表彰を行う制度で、毎年実施しています。市長自ら受賞者に賞状を手渡しながら記念写真にも収まり、受賞の様子はホームページ等でも紹介されています。こうした施策に刺激を受けて、事業者の環境活動が活性化したり、エコアクション21を含めたEMS認証取得につながっていかないと考えています。

課題とこれからの取り組み

施策の周知徹底と取得事業者数の拡大

エコアクション21については、2008年度から認証取得費補助制度を実施し、福山市としてはたゆまない支援を続けているのですが、まちでの反応やEMS取得事業者数の伸び悩みなど、いまだ市の施策を十分に伝えきれていないようです。2020年のEMS認証取得事業者目標値をクリアするため、これからも「中小事業者のために何かしたい」の気持ちを持って、普及活動に取り組んでいきたいと考えています。

みんなであつなぐ 豊かな水と緑の環境都市をめざして



徳島市は、四国三郎として全国に知られる吉野川の雄大な流れと眉山、城山などの緑豊かな自然に恵まれたまちで、阿波おどりや人形浄瑠璃などの独自の伝統文化を育み、東四国の拠点都市として発展を続けてきました。本市では、将来の望ましい環境像として「みんなであつなぐ豊かな水と緑の環境都市・とくしま」を掲げており、その実現のためには市民、事業者、市のネットワークが必要だと考えています。

この恵まれた環境を損なうことなく、より良いものとして次の世代に引き継ぐために、市民・事業者・市の三者が協働し、日常生活・事業活動・施策などそれぞれの役割分担の下、自主的・積極的に環境の保全および創造に取り組むよう努めています。

徳島市長 原 秀樹

徳島市では、エコアクション21をどのように位置づけられていますか？

「徳島市環境基本条例」でも、市は自ら環境マネジメントに取り組むとともに、事業者への環境マネジメント導入の促進を図ることとしています。また、「第2次徳島市環境基本計画」や「第2次徳島市地球温暖化対策推進計画」に、取組の一つとして、環境マネジメントシステム導入の促進を掲げており、エコアクション21は、中小事業者が取り組みやすいよう策定された環境マネジメントシステムであり、環境負荷を把握し、環境に配慮した取組を実施できることから、その普及を推進しています。

エコアクション21の普及をどのように進めているのですか？

徳島市では、エコアクション21中央事務局が実施する「自治体イニシアティブプログラム」を活用してエコアクション21の認証取得支援を行っていますが、平成20年度に四国の自治体で初めてこの自治体イニシアティブプログラムに参加し、エコアクション21地域事務局である徳島県中小企業団体中央会との連携のもと、実施しています。

これを活用し、参加した事業者が一斉にエコアクション21に取り組むことにより、エコアクション21の認証取得が進むだけでなく、地域全体の二酸化炭素排出量の削減などにもつながると考えています。

エコアクション21地域事務局と審査人との連携についてお聞かせください

エコアクション21の認証取得に向けて年5回程度の無料セミナーを開催していますが、このセミナーにおいて、専門家である審査人によるコンサルティング同様の個別アドバイスや指導、各種資料等の提供を行っています。また、適用を受ける環境関連法令の規制項目や基準など、事業者が負担に感じている部分について、個別の相談にも応じています。

徳島市ならではの特色ある普及活動があると伺いました

平成24年度から、「東部定住自立圏構想」における環境部門の取組の1つとして、徳島市だけでなく、周辺の8町村（勝浦町、上勝町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町）と連携し、エコアクション21の認証取得支援を実施しています。圏域市町村が連携して、地球温暖化防止対策や環境負荷の低減に取り組むことによって、圏域内の住民、事業者等が行う環境保全活動の拡大を図っています。



徳島県徳島市のあらし

面積：191.69 平方キロメートル
人口：256,911 人(男 121,867 人、女 135,044 人)
世帯：116,343 世帯

特産品：すだち、れんこん、ねぎ、しいたけ、カリフラワー
伝統文化：阿波おどり、人形浄瑠璃

エコアクション21の普及促進の取り組み

事業所で環境活動を進めていくための手順と環境に配慮した取り組みを紹介する「事業所の環境活動推進ガイドブック」を作成し、市内の事業者者に配布しました(平成26年度)。エコアクション21の特徴や、取得することによる県内での優遇策などを掲載し、普及のための周知を行っています。

エコアクション21の3つの特徴

1. 中小事業者が取り組みやすい環境経営システム
2. 環境パフォーマンスの向上
3. 環境報告(環境コミュニケーション)の公表



エコアクション21の取得による優遇制度

- ・ 優良産廃処理業者認定制度
- ・ 徳島県産廃処理業者認定制度
- ・ 徳島県が発注する建設工事入札
- ・ 「食品リサイクル優良事業者」として認証・登録

課題とこれからの取組

全国的に新規登録事業者数が伸び悩む中、徳島県内においても例外ではありません。本市としては、事業者の声を反映しながら、今後も積極的な周知・啓発を行い、エコアクション21の普及を図っていきたく考えています。

セミナーを受講しやすくします

市役所などで昼間に開催していたセミナーを、事業者の方々が集まりやすいように開催時間や場所等を変更できればと考えています。今後も地域事務局と二人三脚で事業者が参加しやすい環境作りを行い、少しでも多くの認証取得へとつながるよう努めていきます。

必要性和メリットを伝えていきます

今後も、関係団体・圏域町村と連携を図りながら、エコアクション21の必要性やメリットについて周知・啓発・情報提供・情報収集を積極的に行い、普及につながる施策の実施に努めていきたく考えています。

豊かな環境が支える 「県民幸福度日本一」の実現へ



福岡県では、県民一人一人が、この県に生まれて良かった、生活して良かったと実感できる「県民幸福度日本一」を目指しています。環境と調和し、快適に暮らせることは、それを実現するための柱の一つです。そして、この環境の問題は、廃棄物の処理や地域固有の生態系のかく乱といった身近なところから、地球温暖化や越境大気汚染など地球規模の問題まで多岐にわたっています。

これらの課題を解決するためには、行政分野の連携はもちろんのこと、県民やNPO、事業者の方々などの主体的な行動が不可欠です。県や市町村の事業に多くの皆さんに参画していただき、行政、学校、住民、NPO、企業などが一体となった活動が広がっていくことを期待しています。

県民の皆さんと福岡県の環境に関する認識を共有し、皆さんと共にさまざまな課題解決に向けた取り組みを積極的に進めてまいりたいと考えています。

福岡県知事 小川 洋

福岡県における環境への取り組みについてお聞かせください

多岐にわたる環境問題の現況を受けて、平成25年3月に第3次福岡県環境総合基本計画「福岡県環境総合ビジョン」を策定しました。この計画では、豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県実現のため、重点的に取り組む7つの柱を掲げて、柱ごとに福岡県の環境の現状・課題や施策の方向、みんなで目指す10年後の姿について明示しています。現在、この計画に沿って、各分野で取り組みを進めているところです。

具体的には、グリーンアジア国際戦略総合特区における環境配慮型製品の開発や生産拠点の構築を進める一方、FCV(燃料電池自動車)の普及など水素エネルギー産業の育成・集積に取り組んでいます。

エコアクション21をどのように位置づけられていますか？

本県では、事業所における省エネルギー・省資源の取り組みを促進するため、さまざまな施策を実施しています。そのひとつとして、「福岡県地球温暖化対策推進計画」において、エコアクション21の普及啓発を掲げています。事業所においてエコアクション21を導入し、環境配慮の取り組みを促進していくことは、低炭素社会の構築に大きく貢献することだと考えています。

環境の面から福岡県の未来はどのようにあるべきとお考えですか

毎日の生活、事業活動、行政の政策立案などあらゆる場面で、環境の視点が求められる時代となってきました。さらに、環境と成長は相容れないものと捉えられていた時代から、それらが調和した持続可能な社会づくりの視点が重視される時代へと変化しています。このような認識に立ち、環境と調和し、快適に暮らせる福岡県の実現を目指しています。



福岡県のあらし

面積：4,986平方キロメートル(東西約112.1km、南北約138.6km)
人口：5,090,505人(男2,403,699人、女2,686,806人)(平成27年3月1日現在、推計)
世帯：2,205,189世帯 市町村数：60(28市30町2村)
特産品：米「夢つくし」、「元気つくし」、小麦「ラー麦」、いちご「あまおう」など
伝統工芸品：小石原焼、博多織、博多人形、八女提灯など

事業所における省エネルギーの取り組みを促進

福岡県では、電気使用量や自動車燃料の削減、グリーン購入等の地球にやさしい活動を行う事業所を「エコ事業所」として募集し、省エネルギー・省資源対策に取り組んでもらっています。

エコ事業所としての取り組みが優秀な事務所を表彰

エコアクション21取得に向けた取り組みを支援

入札参加資格審査での加点や低金利融資など、取り組む企業にメリットを用意

エコ事業所 から **エコアクション21**へ
ステップアップを応援しています

エコアクション21を広めるために

福岡県では、エコアクション21の普及促進を図るため、地域事務局と連携してセミナーやコンサルティングを開催しています。

導入セミナー

エコアクション21の普及促進を図るため、その概要や特徴、取組事例等を紹介するセミナーを県内3会場で開催しています。

コンサルティング

エコアクション21の審査人が講師となり、構築・運用に向けた具体的な指導・助言を行うコンサルティング(実践講座)を、県内3地域で実施しています。3社程度に1人の講師が付き、計5回の講座を通じて、事業者の取り組みを多面的にサポートしています。

課題とこれからの取り組み

業務部門における温室効果ガス排出量の削減

平成24年度の業務部門における温室効果ガス排出量は792万トン-CO₂で、平成2年度と比較して64.2%の増加となりました。このような現状からも、事業所が環境配慮の取り組みを行うエコアクション21の普及促進は重要であると考えています。

エコアクション21に取り組むメリットの浸透

福岡県では、入札参加資格審査においてエコアクション21に取り組んでいる事業所に加点を行っています。また、エコアクション21に取り組むことで、無駄なエネルギーを削減でき、事業所にとっては経営上のメリットを受けることができます。このように、省エネルギーの取り組みが経営の黒字化を勧める一手であることをしっかりと伝え、エコアクション21の取得を促進していきたいと考えています。

エコロジーはエコノミー ムダを省いて、企業力を向上させる

株式会社ホクノー（北海道札幌市）

北海道内に5店舗のスーパーマーケット・ショッピングモール、そして焼き肉と串揚げの専門店2店舗を展開する株式会社ホクノー。創業以来一貫して、食の安全・安心にこだわり、地域の皆様の生活を支え続けてきました。そうした地道な経営の延長線上に、環境への取り組みがクローズアップされてきたのは、時代の流れなのかもしれません。取引先から背中を押されるような形で環境マネジメントシステムの導入を考えるようになったという同社ですが、名より実とエコアクション21を選択して、今日に至っています。

企業経営と環境活動の調和を図り、環境汚染の防止や資源の有効利用に努めて、より良い地域社会の実現をめざす。同社の環境方針は、けしてお題目にならず、着実に効果を上げています。そんな同社にみる環境と経済の両立、そこに至るまでのエコアクション21導入の経緯や成果など、興味深いお話をお聞きました。



代表取締役社長 野地 秀一

契機

どうせやるなら実のある方がいいと選びました

グリーン商品を扱う取引先から、環境マネジメントシステムの導入を薦められたことがきっかけになっています。そこから、ISO14001とエコアクション21を勉強して、「何のためにやっているのかわかる」のがエコアクション21でした。ISO14001はコストも負担も大きくて、どこか取得自体が目的になっているような気がして…環境省がお勧めしているのだからいいシステムなのだろうと、エコアクション21の導入を決めました。

正直、苦勞らしい苦勞が思い当たらないんです

エコアクション21の苦勞は、審査人の方に全部、肩代わりしてもらっているような感じです。導入するときはもちろん、日々の環境活動に当たっても、わからないところを丁寧に教えていただくものですから、苦勞しらず!?で、ここまで来てしまいました。節電・省エネ・ゴミ減量の3つにしても、少し行き詰まっていたら、「地域とのつながりとか、社会貢献にも目を向けてみましょう」と、フォローアップ研修とかで教えていただきました。

苦勞

効果

ムダを省いて生まれた原資で設備投資できました

普段の何気ない、自分たちでできることから取り組めるのが、エコアクション21のいいところですね。エコアクション21でムダを見つけて、そのムダを省いていくと、当たり前ですが経費を削減できます。これはそのままでも収益の向上につながるわけですから、環境活動（エコロジー）は企業経営（エコノミー）なわけですね。エコアクション21の活動を通して削減した「経費」を原資に、館内の全照明装置をLEDに変更できたことは、大変大きな成果だと思っています。

株式会社ホクノー (代表取締役社長 野地 秀一)

札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-2

創業：1956年7月

資本金：48,000万円

事業内容：食品小売、雑貨書籍販売および不動産、公園施設の管理、飲食

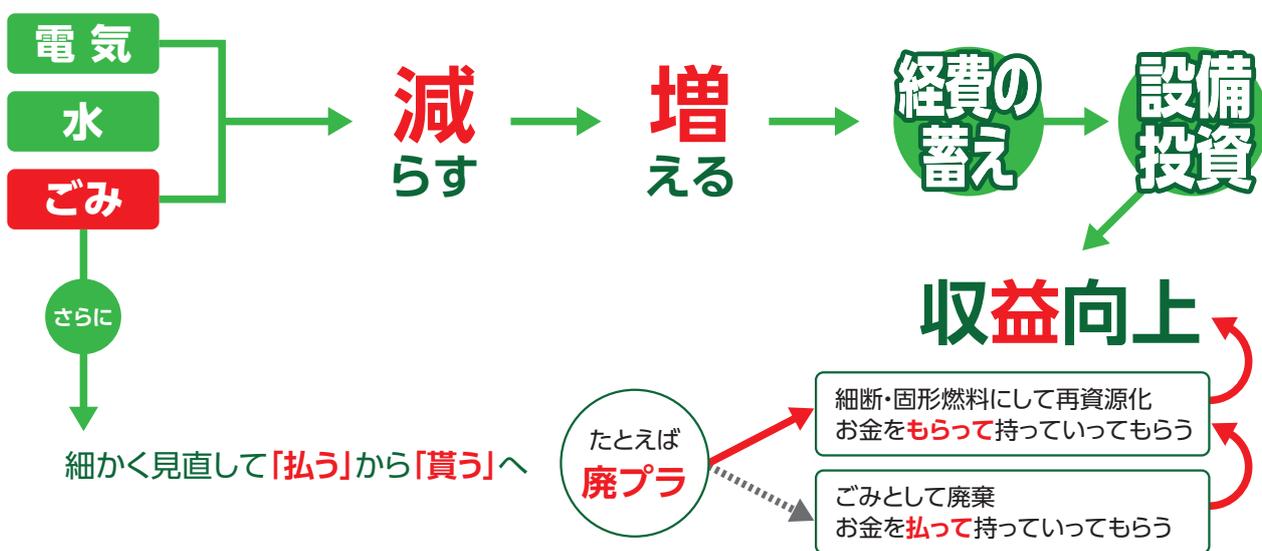


EA21認証・登録番号:0001670

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0001670.pdf>をご覧ください)

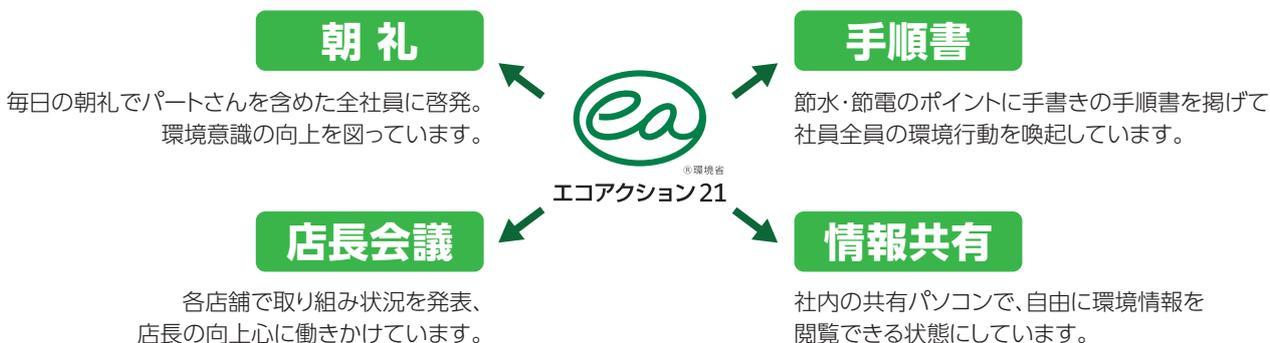
環境負荷削減へのユニークな取り組み

エコロジーがエコノミーにつながる、基本的な省エネ活動を続けています。



エコロジーを社内に浸透させるために

職場のさまざまな場面で、エコロジー=エコアクション21を推進させています。



これからの夢

モノからコトへ～もみじ台のコミュニティセンターをめざして

私どもの本社が置かれている、ここもみじ台は、人口の減少が激しく、高齢化率も札幌市で2番目となっています。エコアクション21を通して地域貢献していく過程で、あらためて地域に食を提供して地域の中で生きてきた「原点」のようなものを感じるようになりました。スーパーマーケットから、地域の皆さんが集う憩いの場、地域のコミュニティセンターになりたいと思うんです。そして、地元もみじ台がすこやかに暮らせる街であり続けられるように、これからも努力していきたいです。

木立の下で散歩が楽しめる、 木立から涼風が吹く工場でありたい

株式会社マイスター（山形県寒河江市）

1976年、山形県河北町で産声を上げた株式会社マイスターは、創業以来「品質第一」をモットーとして、山形のモノづくりを牽引する企業です。2008年の新工場操業を契機に、持続可能な経営体質の強化とモノづくり製造業としての社会的責任を果たす自立した経営体質を目指す同社、環境マネジメントの一環としてエコアクション21の認証を同年に取得、積極的に環境負荷軽減を図っています。

会社構内に畑を区画、社員のみなさんで耕作から収穫まで行うなど、ユニークな取り組みもされている同社を訪問、エコアクション21導入当時の苦労や導入後の効果など、興味深いお話を伺いました。



代表取締役 高井 作

契機

ようやく「日本的な環境マネジメントシステム」に出会えたんです

「昔から山登りが好きで、ここ山形で会社を始めたのも、この自然豊かな環境に惹かれたからです」と話す高井社長。「草木塔」という、自然の中に生かされているという東北独自の考え方に共感される社長は、自然と対峙するのではなくて共生、同化するような、日本的な環境マネジメントシステムがあればと思っていたそうです。そこに登場したのがエコアクション21でした。地球規模での環境問題が叫ばれる中、危機意識が芽生えてきて、企業に何ができるのか？何をすべきか？と考え始めていた頃だと言います。「巡り会うタイミングが良かったのかもしれないね。それがきっかけになりましたから」。

エコアクション21の輪郭をつかむのが大変でした

現場ではとにかく「エコアクション21の輪郭をつかむ」ことに苦労したそうです。

環境に関する活動は、省エネやら節電やら家でもやっていることですからわかります。それが、「環境マネジメントシステム」となると、ガイドラインを理解したり、関連する法律に関する知識が必要になってきます。インターネットを検索すれば、環境に関する法律がずらっと出てくる。それはいいのですが、どの部分が私どもに関係してくるのがわからない。そんなときに助けていただいたのが、地域事務局の方々です。いろいろとアドバイスをもらったり、環境マネジメントの勉強会を開いていただいたり…おかげで認証の取得がスムーズにできたと感謝しています。

苦労

効果

お客さまからの信頼が増した、そう感じています

エコアクション21を取得していることで、お客さまの信頼が増したように感じます。環境マネジメントシステムの国内標準、公的な認証ですから、「私どもはエコアクション21を取得、企業として環境活動を実践しています」と、堂々と言うことができます。この「堂々とと言える」ことが大事だと思います。同じことをしていても、こうした公的な認証を取得しているのと取得していないのとでは、まったく違います。企業としては「重さ」みたいなものが違ってくると思います。

株式会社 マイスター (代表取締役 高井 作)

山形県寒河江市中央工業団地156番地1

創 立：1976年7月1日

資 本 金：2000万円

事業内容：切削工具・特殊工具の加工・製造
精密治工具製作 精密機械部品製作

EA21認証・登録番号：0000647

(最新の環境活動レポートは  <http://www.ea21.jp/list/pdf/0000647.pdf>をご覧ください)



環境負荷削減へのユニークな取り組み



リサイクルでレアメタルを安定供給

超硬工具に使われるタングステンは「レアメタル」のひとつ。その原料は、輸入に頼っているのが現状です。株式会社マイスターでは、このタングステンをはじめ、これまで棄てられていた使用済み切削工具を回収、原料粉末に再資源化して再び製品へ生まれ変わらせています。「もったいない」の心から始まった同社のリサイクル活動は今、レアメタルの高騰を背景に、原材料の安定的な確保策として注目、期待されています。

工場全体が緑を守る構造に

2008年、寒河江中央工業団地に竣工した新工場は、設計段階から緑化を意識したつくりになっています。屋上緑化の施設はその最たるもので、最新の緑化設備を採用して、温暖効果ガスの削減と景観保全の両立を実現、従業員の眼にも優しい憩いの空間を作り上げています。さらに、敷地内の樹木の育成に力を注ぐことで、散歩を楽しめる工場、木立からの涼しい風が吹く工場をめざしています。



期待すること

認証を取得しても、それで儲かるわけでもないし、手間もかかる。この景気で、本業が手一杯というのが私どものような規模の会社の本音だと思います。その消極的な部分を払拭するには、エコアクション21がもっと認知されて、広まってくれるのが一番です。それも取得する側だけでなく、私どもに発注される大手企業様に、できればISOだけではなくてエコアクション21も認めていただけるようになると、取得する意味や価値がグンと上がってくると思います。

取得のヒント

社長が、自然や環境を大事にする人でしたから、「エコアクション21」導入に際しても、社員も前向きに取組むことができました。でなければ、一担当者が「エコアクション21をやりましょう!」とはなかなか言えるものじゃないです。だから、説明会などに企業のトップの方がもっと参加されて、エコアクション21を理解する機会を持ってもらうと良いかも知れません。その気になればトップダウンで進めることもできるし、審査人にも気軽にいろいろ質問していける。エコアクション21は中小にこそ向いているのではないのでしょうか。

エコアクション21の
あれこれ

県や市に期待すること

エコアクション21を推進される立場の県とか市には、取得までの道筋であるとか、実際に何から始めればよいのか、環境の専門的な観点から取り組み方などの具体的なイメージを見せてもらえるとうれしいですね。やはり「御上」の言うこと、やることには関心が集まりますし、県とか市が率先しているいろいろなことをしてもらえれば、エコアクション21が広がっていく大きな力になると思います。

山形エコアクション21に思うこと

子どもの頃、泳いだり魚を捕まえたりして遊んだ記憶が、はっきりと残っています。それを自分の子どもたちに伝えられなかったのは、今でも残念だと思っています。だから「最上川をきれいに」と言われてしまうと、県民として気持ちが動きますね。漠然と「地域の清掃協力」と言われてもピンと来ない。地域密着という意味でも、山形エコアクション21はいいアイデアだと思います。

担当審査人から一言

作業着に身を包み真剣な表情で切削マシンを操る若い女性。彼女たちに話を聞くと例外なく、「仕事楽しい」、「やりがいがある」、「結婚して子どもができて安心して働ける」などと笑顔で答えてくれます。60歳を越えたベテラン職人さんも健在です。ここは、縦割り組織を排除し、老若男女が協力し合って働く「結い」工房。「人を大切に、その人の能力を最大限に発揮できる職場環境を形成する」これこそ、究極のエコ活動なのではないのでしょうか。我々が忘れてしまっていた何か大切なことを思い出させてくれるような会社です。

従業員ひとりひとりが主役の環境活動 それぞれが役割を実行して、環境と経営に貢献

株式会社とりせん(群馬県館林市)

これまで半世紀にわたり、「誠実、信頼、努力」を社是として事業に取り組んでいる株式会社とりせん。群馬県を中心に北関東で58店舗を展開、お客様のより豊かな暮らしを創造するために、安全で良質な商品・サービスを提供しています。お客様の食を預かる会社として「安全、安心」を社業の基本と考える同社では、地球温暖化に代表される環境問題を企業の社会的責任と位置づけ、商品の仕入れから販売、消費にいたるすべての段階において、資源の再利用や環境負荷の低減に取り組んでいます。

地域を取り巻く環境問題については、企業市民としてふさわしい責任と行動力で柔軟に対応し、「地域のお客様とともに環境保全に努めていく」と語る同社。エコアクション21を環境活動の指針と定め、全店舗で認証を取得、環境負荷軽減に向けてひたむきに努力を続けています。そうした活動をコスト削減、企業利益につなぎ、さらなる前進を図る同社に、エコアクション21を導入した経緯、導入時の苦労や成果、効果など、興味深いお話をお伺いしました。



代表取締役社長 前原 宏之

契機

創立60年の節目に「環境に強い企業になる」と決めました

創立60年の節目を迎えたときでした。「社会に評価されることをやろう」という動きがありました。そこで出てきたのが「とりせんは環境に強い企業になる」ということでした。日頃から「安全、安心」をモットーとしている会社ですし、環境をひとつの強みにしていこうと考えたわけです。では、どうするか。やはり何かしきみが必要になり、環境省が勧めているエコアクション21が向いていると思いました。「省エネ、省コストはエコアクション21を実践していれば自然と身につく」、それが決定打になりました。

環境活動をわかってもらうまでが大変でした

やはり環境活動のいろはを教え込む、浸透させることに苦労しました。しかも全店舗になりますから、水平展開するのも大変でした。まずはじめに、店長会議を通じて各店舗のリーダーの意思統一を図り、その後、それぞれの店舗で周知・徹底、つまり教え込むというやり方にしました。具体的には、ひとりひとりの役割を実行しよう!ということで、環境方針カードに「環境保全への私の役割」を記入したり、それを各店舗の「エコアクション推進組織図」に展開したりして、社員の啓蒙、啓発を進めてきました。何とか当事者意識が芽生えたようで、ようやく会社として環境活動が定着してきたように思います。

苦労

成果

「廃棄物」が「有価物」に。リサイクルの徹底で利益が生まれました

全店舗、全社員がそれぞれの役割を実行する中、店舗照明のLED化やバイオディーゼル車の導入などで、会社全体での省エネはかなり進んだと思っています。この省エネによる経費節減は、原資という形で企業利益になっています。さらに、リサイクルの徹底による段ボールの回収は、これまで「廃棄物」だったものが「有価物」となりました。

株式会社とりせん (代表取締役社長 前原 宏之)

本社：群馬県館林市下早川田町700番地

設立：1948年2月1日

資本金：10億4,300万円

事業内容：スーパーマーケット

(主な取扱品:生鮮食品、加工食品、日用雑貨、米、酒他)

EA21認証・登録番号:0004150

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0004150.pdf>をご覧ください)



環境負荷削減へのユニークな取り組み

エコアクション21への取り組みにおいては、個人の役割を明確にすることで、やる気と責任感をもって日々行動できるようにしています。



環境にやさしい新店舗づくり

これまでの環境活動で培ったノウハウを、私どもの考えるこれからの店舗スタイルに融合。はじめから環境負荷のことを考慮した、環境にやさしい新店舗をオープンさせようと考えています。

現状と効果の「見える化」促進

「デマンドコントローラー」を設置、電力使用量をリアルタイムに、従業員の誰もが見えるようにしました。使用量が見えることで、従業員の省エネに対する意識が変わり、電気使用量削減に大きな効果がありました。

お客様とリサイクル推進

33の店舗でリサイクルステーションを導入。リサイクル品を持ち寄っていただいたお客様には、お店で使える「お値引き券」を進呈、お客様とともにゴミの減量、リサイクルの推進を図っています。

また、他ではあまり見かけない古着の回収も、お客様から「次はいつ?」とお声がかかるほど好評をいただいています。

数字にならない成果

成果は、数字に見えるところにとどまりません。小売業、とりわけスーパーマーケットという性質上、商品を安心して買えるのは絶対条件です。これまでの「ゴミを捨てる」から「リサイクル」に変革した姿を、エリアごとに開催しているお客様との意見交換の場「モニター会議」でお知らせしたところ、とくに女性のお客様から信頼していただくことができました。当社にとって、これ以上の成果はないかもしれません。

従業員全員が「楽しめる」環境活動 EA21が培うみんなで頑張る意識

来ハトム工業株式会社(埼玉県八潮市)

1946年に個人商店として産声を上げた「来ハトム工業株式会社」。創業当時、ハトムやホックの仕入販売が主だった会社ですが、今はアルミ電解コンデンサ用アルミケースを主力商品とした金属加工業として元気に操業を続けています。そんな同社も、環境活動に関しては後発、世界的に環境活動の重要性がクローズアップされ始めた1990年代初頭はおろか、地球温暖化等への取り組みが積極的に始まった2000年代にあっても、本格的な環境に対する取り組みがなされなかったといいます。

2010年9月のエコアクション21 認証取得を機に変わったという同社。全社員の工夫と努力で環境活動は急速に発展、環境コミュニケーション大賞の受賞をはじめ、名誉ある評価に与る機会にも恵まれました。それでも同社の環境管理責任者は「環境活動後発組であることに変わりはなく、環境活動の先輩諸氏より学ぶものがまだまだ多い」と話し、学ぶ気持ちを忘れていません。他社の好例を貪欲に吸収しながら、さらなる環境活動に取り組む同社に、エコアクション21導入のいきさつや成果など、貴重なお話を聞きました。

契機

とても身近で、コストメリットもあるのが決め手になりました

商売柄、品質マネジメントシステムであるISO9001/2000の認証は取得していました。その流れから、環境マネジメントシステムでも、同列のISO14001を検討したことは確かです。ただISO14001は、書類ありきで実効性に疑問が残る。その点エコアクション21は、取り組みやすい環境経営のしゅみを持っている。私どもにはエコアクション21の方が向いているのではないかと思います。更新時の費用負担などコストメリットもありますし、「全員参加の取り組みが進む」という側面も、当社には合っていると感じました。

とにかく始めは、何もかもボロボロでした

特に法規的なことに関しては、本当に素人でしたから。認証審査のときも、いろいろと手厳しい指摘をいただき、正直ムツとすることもありました。工場に目を向ければ、「どうせ会社のものだから」と水も電気も使いたい放題、とにかく始めは、何もかもボロボロでした。ただ「それならよし、やってやろう!」という気持ちになって、そこから猛勉強です。そして、社員ひとりひとりの意識改革という指導。そのときの苦勞があったおかげで、環境コミュニケーション大賞受賞などの名誉につながったのだと考えています。

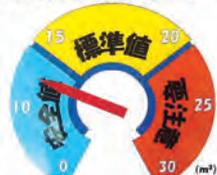
苦勞

効果

社員自らが考え決めて自分で実践する、そんな社風ができあがりました

エコアクション21のいいところは、全員参加型であること。だから、やる人だけがやるのでは意味がない。当社でも、全員参加が基本です。環境報告レポートの中に、「EA21担当」や「私はこうして環境活動を楽しんでいます」を全従業員分を記載しているのも、いい意味で刺激になっているようです。社員ひとりひとりがエコアクション21の担当者=当事者となることで、ひとりひとりが頑張る、みんなが頑張るという当社独自の姿勢が生まれたのだと思います。

週ごとの水道使用量メーター



担当者が考案・作成したマグネット式の「週ごとの水道使用量メーター」。従来の表に手書きから一新、解りやすく、見た目も美しい「週ごとの水道使用量メーター」には、担当者の創意工夫と水使用量削減への情熱が注ぎ込まれています。

来ハトメ工業株式会社 (取締役会長 来 満)

埼玉県八潮市大瀬203-1

創 業：1946年3月6日

資 本 金：3,000万円

事業内容：金属材料を使用する容器、ケース、ガイドの製造

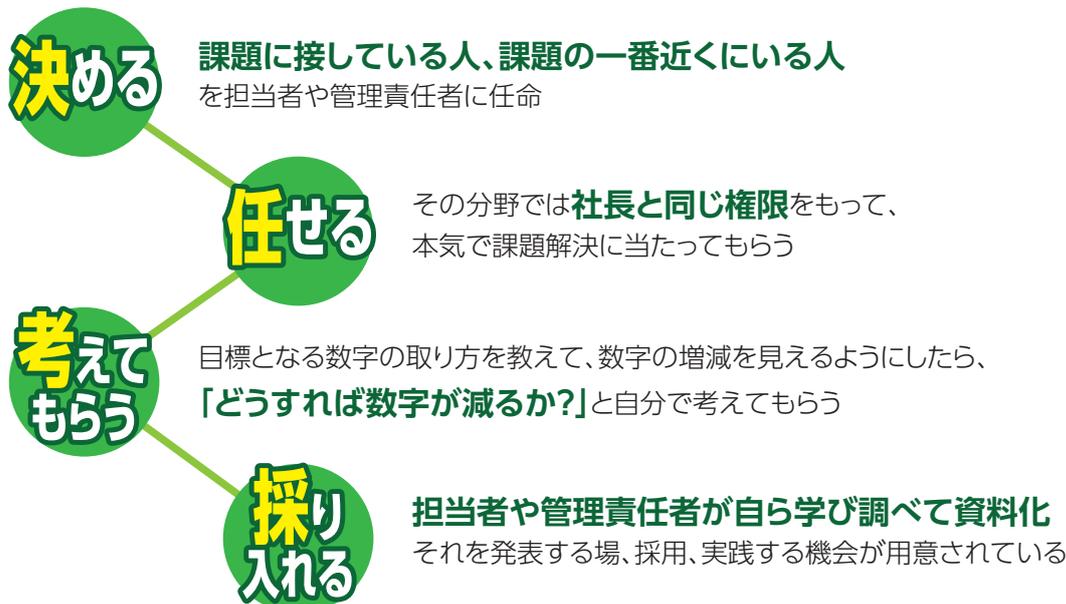


EA21認証・登録番号:0005644

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0005644.pdf>をご覧ください)

環境負荷削減へのユニークな取り組み

シンプルで誰もがわかりやすく、「社員ひとりひとりが自主的に環境活動できる」ことを心がけています。



こうしたしくみを作れたのも、エコアクション21という有効な“ツール”があったからだと思います。1階工場にあった水銀灯をLED照明に変更、大幅な電力消費量削減が実現できたのも、一人の電気担当者が「水銀灯をLEDに変えたらどうなる」を自分で調べて資料化、会議の場で発表したことがきっかけでした。



こうした効果が次世代へ、そして会社存続へとつながっていくことを期待しています。

環境活動 こぼれ話

異業種の方との交流につながった!

開催されるセミナーや懇親会はとてもアットホームな感じです。そこに参加するうちに、異業種の方とも和が広がり、環境活動など、違った目線でいろいろ勉強させてもらっています。また、環境レポート大賞を受賞したおかげで、わざわざ尋ねてくださった方もいらっしゃいます。その方からはエコ石鹸をご紹介いただき、グリーン購入につながりました。

eco2郎 (エコジロウ) とともに 誰かではなく、みんなで「夢」を描く

株式会社みやま (長野県茅野市)



1947年の創立以来、67年にわたりプラスチックの金型製作と射出成形に取り組んできた株式会社みやま。1995年に金属の代替樹脂であるPPS(ポリフェニレンサルファイド)の成形技術を確認・商品化、最近ではお客様のご要望を受けた完成品の商品開発にも取り組みはじめ、ますます元気に活躍されています。

固有の技術をしっかりと社内に培い、次の世代に受け継ぐために同社では、「環境保護と生産活動が合致する取り組みが不可欠」と、エコアクション21の維持・改善活動を4年間継続しています。

八ヶ岳に抱かれ、諏訪湖を臨む素晴らしい自然環境に恵まれた地域に立地し、全社員一丸となって経済発展と環境保全活動を推進する同社に、エコアクション21導入のいきさつや成果など貴重なお話をお伺いしました。

契機

茅野市の説明会に参加したことがきっかけになりました

毎年、季節ごとに繰り返される異常気象に、地球温暖化を実感し始めていたところでした。ここ茅野市が、エコアクション21を広めるPR、説明会を開くことになりました。ちょうど会社としても何かしないとイケないと考えようになった頃です。ごみの分別も廃プラの削減も電気代の節約も、どれもみな取り組んでいましたが、「認証取得の説明会があるなら」と参加しました。そこで、当社でも頑張れそうなシステムであることと、認証取得に補助金があることを知り、導入を決めました。

事務局だけのやっつけ仕事、全社活動に落としこめていなかった

「エコアクション21のために新たにやるべきことはない」「社内の環境活動はやり尽くしている」、エコアクション21を取得する前から、環境活動に取り組んでいた私どもは、そう胸を張っていました。それが、1回目の審査を受けてみると…「事務局だけのやっつけ仕事、全社活動に落としこめていない」と厳しく指摘されてしまいました。たしかに「消します、止めます」だけでは、ある程度のところまでくると、やる事がなくなってしまいます。そこから「環境目標の達成には本来業務の改善しかない」という当社の基本姿勢が生まれました。

苦労

効果

若手社員が課題解決の求心力になる機運を生んでくれました

若手を巻き込んで実施体制を再編成、「若手中心で進めていこう」の考えは、社内リーダーが課題解決の求心力になっていく機運を生んでくれました。審査人の指摘・指導をきっかけに、エコアクション21に対応する体制を一新したおかげです。そのなかで、「限られた資源・もので良品をつくる」ことが「温室効果ガス排出の削減」につながるという、当たり前でありながら、ものづくりに携わる上で大切なことにあらためて気づかされました。

株式会社 みやま (代表取締役社長 百瀬 眞希)

長野県茅野市ちの176-5

創 業：1947年2月

資 本 金：4000万円

事業内容：プラスチック射出成形製造、PPS材(金属代替樹脂)の製造



EA21認証・登録番号:0007191

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0007191.pdf>をご覧ください)

環境負荷削減へのユニークな取り組み

当社は、環境活動=エコアクション21を核にして、夢、未来、将来を考えています。



みやま未来プロジェクト

株式会社みやまの「あるべき姿」は

世の中に必要とされる企業である

従業員一人一人が輝ける企業である

経営者と従業員が信頼関係をもって働ける企業である

こと。

「エコアクション21」というツールを使ってその姿を実現するために、「エコアクション21」を中心に考えられた「みやま未来プロジェクト」。

みやまビジョンマップ



全従業員が一堂に会する「全社研修」を実施。そこで「みやまが将来どうなりたいか?」、なりたいみやまへの思い、夢を手書きでマップに。

エコアクション21の認証マークも誇らしげに描かれています。

10年後のビジョン



なりたいみやまへのステップ、10年後にあるべきみやまを描いています。

本来業務の改善と環境活動に投下した教育費用は、売上高や経常利益など、成果に連動しています

環境活動 こぼれ話

エコアクション21の活動や現場での教育、そして当社ならではの全社員研修でも、まずは「やらせてみる」を実践しています。従業員のひとりひとり、豊かな個性を持っているのがわかったからです。そういう潜在能力を引き出し、活かしていくことが環境活動の推進、本来業務の改善につながっています。手書きのマップに出てくるハチやeco2郎(エコジロウ)のイラストも、そうして生まれてきたものなのです。

厳しい時代の今だからこそ ムダとCO₂をまとめて減らして環境経営

株式会社藤枝農産加工所(静岡県藤枝市)

社名にもあるように静岡県藤枝市で昭和18年の創業以来、地元農産物の加工保存食を製造してきた株式会社藤枝農産加工所。時代の要請に応じ農産物及びフルーツの缶詰を製造してきました。現在は、はごろもフーズ株式会社のOEM商品を中心に生産活動を続けています。同社では、安全面・衛生面への配慮を目的に徹底した品質管理を行っており、「食品の製造に携わっている以上、安全・安心の提供は最重要テーマである」と言い切ります。

年間のクレーム・ゼロを目標に、原料だけでなく製品内部の異物まで検知可能な設備を導入、稼働させながら、最後は従業員の目視でも確認するという、「最新設備と人間の目」の両方で安全対策を取る同社。環境活動も同じように、ヒトとモノとの両面で行っています。新工場の竣工と同時にバイオマス設備による廃液の再利用を開始、CO₂削減を図る一方で、社員の環境意識を高めながら、身近な省エネ、省資源活動を組み合わせて効果を上げています。

その同社に、エコアクション21取得の契機から、誰にでも真似できるような環境活動の実践について、いろいろと教えていただきました。



代表取締役社長 牧野 恭三

契機

市の広報活動でエコアクション21を知り、説明会に行ったのがきっかけです

はじめは藤枝市の広報活動で、エコアクション21を知りました。どんなものなのかと興味を持っていたところ、取得のための説明会の案内が届き、参加したのが直接のきっかけです。同業者が規模を縮小、撤退するなど、業界の厳しい時代と重なって、何かを始めるときだったのかもしれませんが、「ムダを無くせばCO₂も減らせる」というエコアクション21のわかりやすさ、そして、費用面での負担も軽く、社員の環境意識の醸成、環境教育にも使える。そんなことで、エコアクション21の取得を決め、自治体イニシアティブプログラムを受講して、登録認証にこぎ着けました。

社員の気持ちのなかに環境意識を定着させるまで、少し時間がかかりました

「ムダを無くしていこう」というトップの思い、さらに「環境活動は、いずれ本業に返ってくる」という考え方。これらを社員の気持ちの中に染みこませていくのに、思いのほか、時間が掛かってしまったように感じています。それでも、人感センサーを少し工夫して、「人が入る前にスイッチが入り、人が出てから切れる」—そんな“気がつかないうちに節約”“節約を不便に感じさせない”取り組みと、社員の提案・アイデアを「提案箱」で吸い上げ、良いことはすぐに取り込む“善は急げ”の活動が奏功し、社員の環境意識は確実に向上、定着したように思います。

苦労

成果

「ストップ温暖化」を合い言葉に、社員がひとつになりました

社員の中に、「ムダを省く=もったいない」の意識が生まれ、定着してくれたことが、何よりの成果です。ゴミの9種類分別の徹底、自家用車のアイドリングストップ、小まめな消灯など、全社員が強い意識を持って取り組んでいます。「ストップ温暖化」を合い言葉に、それぞれの立場において、小さなことでも精一杯の努力をする—これが、環境活動を続けていく源泉になっています。

株式会社藤枝農産加工所 (代表取締役社長 牧野 恭三)

本社：静岡県藤枝市堀之内825-1

設立：1943年5月

資本金：10,000千円

主要製品：食品製造業（コーン缶詰、フルーツ缶詰、プリン缶詰、惣菜缶詰、レトルトパウチ製品）



EA21認証・登録番号:0009401

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0009401.pdf> をご覧ください)

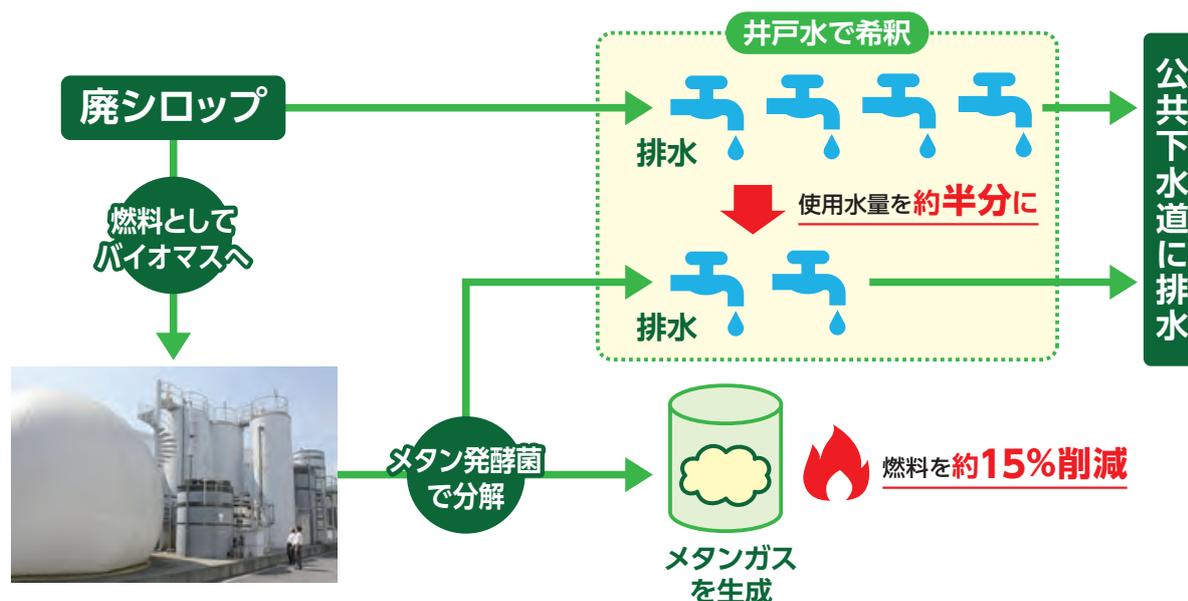
環境負荷削減への取り組み

工場の屋根を有効活用

新工場では、設計の段階から太陽光パネルの設置を考えていました。竣工後もパネルの増床を続けて、現在では2237枚、総計430kw/hの再生可能エネルギーを生み出し、地域の環境負荷軽減に貢献しています。

棄てるから活かすへ

原材料として入庫する大量の缶詰。その中に封入されているシロップは、製造工程で廃棄処分となり、これまでは井戸水で希釈、放流基準値をクリアした状態で排水していました。しかし、地域の環境を考えると「このままではいけない」と、新工場には「バイオマス」設備を導入することに決めました。竣工と同時に稼働を始めたバイオマスで、希釈・排水していたシロップを生産活動に必要なガスエネルギーに変換、活用できるようになりました。同時に、希釈のための井戸水使用量を削減でき、下水道代も大幅に削減できました。



ゴミを仕分けてお金に換算

工場から排出される食品残渣はもちろん、鉄、ダンボール、ビニール類はすべて分別して再生可能業者に引き取ってもらっています。さらに「お金をもらえる」「お金を払う」とゴミを仕分けて、社員の環境意識と費用感覚を同時に高めています。



エコ運転のススメ

配送トラックの運転手にエコ運転を奨励しています。燃費が向上したなど、大きなエコ運転が認められたときには「頑張ったで賞」として図書券を配り、ドライバーのエコ運転を促進、相似に経費節減を図っています。

EA21のいいところ

エコアクション21は、環境活動を「数字」で見えるところ＝数字で管理できるところが良いのではないのでしょうか。エコドライブの評価も、燃費など数字の管理があるからこそできることです。省エネについても、電気や水道の使用量はすぐに把握できるものですし、こうした数字の管理をしっかりやっていく、それができるのがエコアクション21のいいところだと思います。

社員全員参加の環境活動で 地域の皆様、そして堺の海に恩返し

株式会社GE (大阪府堺市)

2003年に創立以来、資源循環型社会の実現を先導するリサイクル施設のモデルとなることを目指してきた株式会社GE。近年は、廃棄物の増大や焼却後の汚染物質排出などによる地球環境への負荷が問題視されるなか、資源リサイクル事業をベースにして、廃棄物の減量、適正処理を進めることが使命であると考えているといいます。

廃棄物を処理しながら、グループ企業との連携によって処理フローの終始を徹底管理する同社。2006年10月から組織全体で環境経営システムを構築し、2007年7月にエコアクション21を認証・登録されました。システムを構築するにあたっては、環境方針や環境目標、環境活動計画を自ら策定、実施体制もしっかり検討したそうです。さらに社内にエコアクション21委員会を設置、取り組みを確認・評価して、問題があれば、原因を究明、是正しています。

今後も、地球環境への負荷低減を念頭に、「地域の皆様に安心と安全を提供する施設であり続けられる努力を重ねていく」と語る同社堺臨海総合リサイクルセンター所長。その所長の下、環境活動に尽力されているご担当者。お二人にエコアクション21を通じたユニークな取り組みなど、お話をお伺いしました。



契機

社員が取り組みやすい内容、それが決め手になりました

事業活動を行って行く中で、「循環型社会の構築に貢献していきたい」、取り組むことによって「環境に配慮した企業として認知・信頼性を高めていきたい」と考えるようになったことがきっかけでした。そこで、ISO14001がいいのかエコアクション21がいいのか、少し悩みましたが…評価項目が実務に即した形で取り組みやすく、取り組み自体が社員教育の一環としても使えると考えて、エコアクション21の取得を選択しました。もちろん取得にかかる費用が安価であることも、我々のような中小には重要な要素でした。

反発、意識の低さを乗り越えるまでが一番大変でした

導入当初は、従業員の意識を変えていくのに苦労しました。普通の仕事が忙しいのに、余計なこと増やして…と反発される場面もありましたけど、社員が社員を教育する手法を通して意識向上を図りました。導入後、軌道に乗ってきからは、マンネリ化が問題視されています。そこで、活動単位である委員会の進め方を変えてみたり、事務局のリーダーに若手の女性を抜擢して体制をリフレッシュしたりと、工夫しました。環境活動レポートの作成方針が変わり写真が多用されるようになったのは、こうした工夫の成果だと思っています。

苦労

効果

小さなことから大きなことまで、実りは多いです

大きな声で言えるようなものじゃありませんけど、整理整頓がきちりできるようになりました。それまで、あちこちに散らばっていた書類も管理され、それが習慣化されたことは大きな成果です。実際の環境活動にあたっては、リーダーが周りを引っ張っていくため、大いに勉強するようになりました。これも大成功だと思っています。さらに、環境活動を通して社員の間に職制を越えた会話が生まれて…今では社内の重要なコミュニケーションツールであり、大きな意味での人材育成のツールとなっています。もちろん実際に電気代の削減につながったり、省エネができたりと、エコアクション21はメリットだらけだと思いますよ。

株式会社GE (代表取締役 金子 文雄)

大阪府堺市西区築港新町一丁5番38

創 立：2003年3月26日

資 本 金：9,000万円

事業内容：産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・積替保管及び
中間処理(焼却、選別・破碎、脱水、乾燥)



EA21認証・登録番号:0001728

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0001728.pdf>をご覧ください)

環境負荷削減へのユニークな取り組み



雑談形式でしゃべりやすく、何でも言える雰囲気

部署ごとに実施している内部コミュニケーション(環境をテーマにした話し合い)で出された議案や提案を、エコアクション21委員会で決議、エコアクション21の活動に採り入れるという「全員参加型」で活動しています。

提案

EA21 委員会

検討・決議

社員のアイデアで環境活動

結果と成果がそのままやる気に

コスト削減・CO₂排出量削減のため、焼却炉の廃熱を利用して自家発電しています。



電気代を **減**らすと
↓
利益が **増**える



場外周辺道路の清掃

エコアクション21の外部コミュニケーションを通じて積極的に環境活動を継続した甲斐もあり、顧客・地域住民・行政の方々に信頼していただいています。また、エコアクション21事例発表の依頼や作成したレポートに対する受賞も何度かいただいております。環境に配慮した企業としての認知が高まっていると考えています。



エコアクション21の事例発表を
させていただきました

次の企業へ 応援メッセージ

社外PRや従業員教育、また、書類管理のツールとして役立ちます。取組当初は、苦勞すると思いますが、現状の経営に沿ったシステムになっているので、業務の掛け持ちが容易です。システムが安定すればすぐに効果も出てきて、社外への信頼にも繋がってくると思います。

会社の未来をつくる環境経営 エコ整備で、めざせ地域のオンリーワン

株式会社北陽商会(岡山県新見市)

岡山県の西北端、市域の約9割を森林が占めているという新見市は、緑豊かな山間のまちです。その新見市で長く自動車整備・販売業を営んでいる北陽商会、地元のお客様からの信頼も厚い同社の看板サービスが、エコでエコ(エコノミーでエコロジー)を採り入れた「エコ整備」です。1990年代以降、構造的な不況に見舞われている自動車整備業界。少子高齢化で保有台数が減り、性能が上がって壊れにくくなり、同業者との競争も激しくなったといいます。

そうしたときに参加した自動車整備業グループのセミナーで、環境経営をテーマにした講演を聴き、「これからは環境経営を考えなければ生き残れない」と言う言葉に刺激を受けた、同社の山崎社長。そこから独学で環境マネジメントシステムを勉強、エコアクション21の認証取得を果たして、環境経営を好循環させています。同社に、エコアクション21導入の経緯や取り組み上での苦労、そして、成果・効果など教えていただきました。



契機

「エコ整備」のブランド化に、環境省の力がほしかった

自動車整備業界全体が厳しさを増す中、「環境」を軸にした、同業他社にはない「整備」で売上を伸ばそうと「エコ整備」に取り組みました。しかし、「環境に良い」というだけで売れるほど、現実には甘くはありませんでした。それでも、環境をテーマに他社との差別化を図り、地域のオンリーワンをめざしていくためには「エコ整備」が必要であり、考えたのが「エコ整備」のブランド化です。そして、ブランド化のために「環境省策定」というエコアクション21のロゴマークを使用しようと、認証取得を決めました。

環境活動に対する社員の意識を向上させるまでに少し苦労しました

何事も自主的・自発的に取り組んでもらった方が、良い結果が生まれます。エコアクション21による環境活動への取り組みも同じで、「私たちはなぜ環境活動に取り組むのか」を社員にはっきりと伝えて、社員からの提案は前向きに受け入れるようにして、とにかく「やらされ感」だけは持たせないように気を配りました。こうした努力を積み重ね、環境活動に対する社員の意識を向上させるまでに少し苦労しました。その甲斐あって、今ではお客様がエンジンをかけたまま来店されると、社員が駆けていって一言、「もったいないですよ」とエンジンを切るまでになりました。

苦労

効果

自信や誇り、この無形の資産が一番の成果だと思います

エコアクション21の枠組みの中、さまざまな環境活動に取り組むことで、経費が大幅に削減されました。エコ整備も軌道に乗り、環境経営のサイクルも上手く回り始めていると実感しています。さらに、当社の取り組みを評価いただき、環境関連の表彰にあずかったり、メディアに取り上げてもらったりすることで、対外的な信用が向上しました。これが社員の仕事に対する自信、会社に対する誇りを生み、その自信や誇りは仕事への向上心につながりました。この無形の資産が一番の成果、当社の財産になったと思います。

株式会社北陽商会 (代表取締役社長 山崎 保彦)

岡山県新見市新見327-1

創業：1952年

資本金：1,000万円

事業内容：自動車販売整備業 損害保険取扱代理店

EA21認証・登録番号:0000744

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0000744.pdf>をご覧ください)



環境負荷削減へのユニークな取り組み

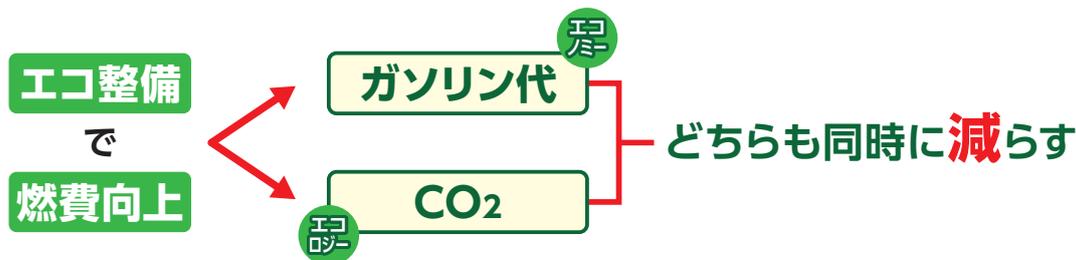
「社員主導+地域密着」で、環境と経営を両立できるように頑張っています。

環境管理委員会

「昼食をとりながらの雑談」という集まりは、各部署の責任者が本音で語る場。その雰囲気からアイデアがどんどん生まれます。さらにアイデアを出した人間は、その発言に誇りと責任を持って取り組んでいくので、自ずと活動も社員主導。トップダウンではない取り組みが、社員のやる気を引き出しているように思います。

エコ整備

事業のけん引役であるサービスは、お客様のお財布にやさしいところと温暖化防止に貢献できるところがうまくミックスされています。



エコアクション21を通じて環境に対する意識も向上するなか、たとえばアイドリングストップやエコドライブなど身近な環境への配慮、気配りを、「ガソリンがもったいないですよ」と“おトク”目線で伝えていけるようになりました。

エコアクション21で生まれた好循環

さらに上の活動へ



事務局にひとこと

メイキングを作ってみては?

“〇〇さんがエコアクション21を取得するまで”のような、メイキングを作ってみてはどうかと思うんですね。「エコアクション21ガイドライン」や「ハンドブック」もいいですけど、認証取得に必要な書類など正直わかりにくかった印象もありますし…。実際に事業者の言葉のほうが具体的だろうし、とっつきやすいんじゃないでしょうか。同じ“仲間”のメイキングなら、きっと興味を持っていただける、そう思います。

地域から必要とされる、魅力ある企業 「こんな会社で働きたい」と思える会社へ

廣間組有限会社(徳島県那賀郡)

徳島県南部を流れる那賀川の上流に位置する那賀町木頭(旧木頭村)。ここは、徳島と高知の県境でもあり四季折々の自然環境に恵まれたとても美しいところです。廣間組有限会社は、この地で創業から公共土木工事に携わり、林道開設や予防治山、国道整備や災害復旧など、地域のライフラインを担う重要な仕事を続けています。ただ、その同社にも、等しく不景気の波がおとずれ、経営の苦しい時期があったのだといいます。

そうした時代に通用し、地域社会からも必要とされるには、人も企業も変わらないといけない——そのために同社は、環境こそ新しい柱になると考え、エコアクション21の導入を決めたそうです。エコアクション21の「環境経営」という考え方に共感、エコアクション21が自社の魅力のひとつになると信じて、「環境と経営の融合」に向けて努力を続ける同社ですが、今では社員の間にも環境意識が根付き、地域からも一目置かれるようになったといいます。

そんな同社にお邪魔して、エコアクション21の導入から今に至るまで、いろいろなお話を聞かせていただきました。



代表取締役社長 西田 静男

契機

「何かをしなければいけない」の思いで始めました

地域事務局のグリーン化プログラムがきっかけでした。当時、建設業界はとても苦しい時期で、人も機械も仕事も減り、日々の業務がある中でEA21に取り組む余裕など、正直ありませんでした。ただ、それと同時に「このままではいけない、何かをしなければ」と変化を求められている時期だとも感じました。木頭の森を見るにつれ、その変化の方向は環境では無いのかと考え、環境経営に目を向けるようになりました。そしてそのための手段として選ばせていただいたのが、エコアクション21です。

さらに、環境経営を通じて人や組織、会社が成長し、自分たちの仕事や職場に誇りが生まれ、「こんな会社で働いてみたい」と思えるような魅力ある会社づくりができればと考えました。雇用の面でも、これまで「建設業」という切り口だけでしたが、「環境」という一面が備わることで、新たな雇用機会を創出できたように思います。建設業に関わりがなかった人や若い世代の人達が環境問題から建設業に興味を持ち、どんどん当社の門を叩いてくれたらうれしいですね。

環境活動をわかってもらうまでが大変でした

重機のアイドリングを止める——この行動ひとつをとっても、周知・徹底には苦労しました。一度暖まったエンジンを止めるのは、たしかに効率が良くない。「仕事の効率が悪くなる」というのも理解できます。ただ、よく話を聞いてみると、実は面倒くさいだけだったりするわけです。こういう部分を何度も口に出してわかってもらうまで、環境担当の苦労は続いたようですね。その甲斐あって今では、反発していた人間がまっさきに重機のエンジンを切りに走ったり、「もったいない」の声が出てきたりと、苦労したことがそのまま成果になってきています。

苦労

成果

「会社組織の変化」が実感できるようになりました

エコアクション21に取り組むことでPDCAサイクルが定着して、工事成績や現場利益も向上しています。ただ、それ以上に、社員の環境に対する意識が深まったことが大きな成果だと思っています。とくに「環境コミュニケーション大賞」を契機に気持ちにも変化が生まれ、エコ検定など環境に関わる資格取得に向けて自主的に勉強を始める若手も出てきました。さらに「認められた」ことでモチベーションが向上、全社員の自信と誇りにつながって、会社組織の体質がよい方向に変わっていると実感しています。

廣間組有限会社 (代表取締役社長 西田 静男)

本社:徳島県那賀郡那賀町木頭出原字イシノモト28-1

設立:1958年11月22日

資本金:3,500万円

事業内容:【特定建設業】 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、
水道施設工事業、しゅんせつ工事業
【一般建設業】 建築工事業、管工事業



EA21認証・登録番号:0006956

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0006956.pdf>をご覧ください)

環境負荷削減へのユニークな取り組み

「当たり前のことを当たり前」を合い言葉に、「お金をかけない」というエコアクション21の良さを引き出しながら、頑張っています。



- ・社有車の一部をエコカーに変更
- ・走行前のタイヤ空気圧のチェック
- ・4次規制の低燃費低排出型の重機に変更
- ・不使用時のエンジン停止を徹底

- ・ゴミの持ち帰り推進
事務所のゴミを削減するため、マイボックスを作り、各自でゴミを持ち帰るようにしています。
- ・産業廃棄物の再利用
コンクリート殻や根株等の産業廃棄物を可能な限りリサイクル、工事現場で再利用しています。

- ・出しっぱなし防止
洗車に使うホースを水力調整機能付きに変更、水の出しっぱなしを防止しています。
- ・雨水の有効活用
現場に雨水タンクを設置、清水が不要な場合に、貯まった雨水を利用しています。

お金をかけずに
省コスト

工事成績の向上



現場利益の向上

¥ 会社の利益

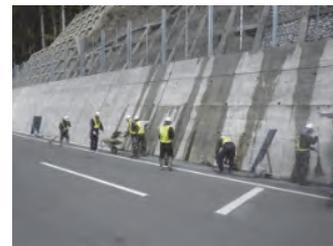


環境経営フォーラム

環境経営フォーラムで講演させていただきました

現場事務所

ゴミを捨てることもなく、きれいになりました



地域貢献

社員みんなで作業させていただいています。

森に暮らし
森と生きる
私たちから

二酸化炭素を吸収して酸素を作るのは森林。雨水を蓄えて浄水し美しい川を作るのも森林。そして、その森林のほとんどは地方にあり、今も地方の人や企業が絶えず手を入れて守っています。これからも、こうした地方の“小さなアクション”に目を向けてほしいと思います。地方が元気になれば、この国が本当の意味で元気になることはないのですから。

そして、この春。森に花を咲かせる
新しい挑戦が始まりました。



エコアクション21の活動を通して 新しい業態へ挑戦するチカラを得ました

木下緑化建設株式会社(福岡県福岡市)

会社創設から40年以上にわたって、福岡県はもちろん九州一円、さらには本州の一部もその範囲として、造園活動を続けてきた木下緑化建設株式会社。これまで公共事業を中心に多くの公園、街路や公共施設の緑化を行ってきた同社も、もうすぐ節目の50年を迎えますが、少子高齢化の社会が進む中、公園や街路整備においては、量の時代は終わったといえます。

緑を造るだけでなく、緑を通じて地域のコミュニケーションまでデザインできるような仕事が必要とされる時代、屋上緑化・壁面緑化といった特殊緑化技術にも豊富な経験と実績のある同社は、環境に配慮した「提案型総合緑化空間創造」に取り組み、指定管理者業務でも福岡市の松原運動公園などを運営しています。

今日まで築き上げてきた実績と技術力を活かして、これからの社会が必要としている緑地・空間づくりをめざしている同社。その提案の力になっているのがエコアクション21であり、環境報告レポートだと話す木下社長。そこから導入時の昔話や、エコアクション21らしい成果など、いろいろ教えていただきました。



代表取締役社長 木下 浩市

契機

「環境といえば木下緑化」と言われるために

本業ではISO9001を取得していましたが、品質に関するしきみはできていました。ただ、経済の低迷から業績も苦しくなり、品質だけではなく、他に求心力となる何かを模索していたときです、環境を考えるべきなのではないだろうか。ちょうど地域事務局の方にも「やってみらんか?」と声をかけられていましたし、会社を取り巻く状況も厳しさを増していましたから…これから何で勝負していくと考え、「環境といえば木下緑化」と言われるようにしていきたい、そのためのエコアクション21導入でした。

環境活動を継続する意識づくりに少し苦勞したかもしれません

他の業務との絡みもあって、事務処理に煩雑さを感じているのは確かです。しかし、苦勞というものではありません。たとえば環境報告レポートの作成は、社員のスキルアップにつながりますし、それが優秀な出来映えで表彰などされれば、周囲に対するアピール=PRツールとして使うこともできます。ただ、こうしたメリットを理解して、環境活動を継続していこうとする意識を醸成するために、「上」が少し苦勞したかもしれませんね。それでも変化が数字に見えるので、出てくるやる気の方が「上」でしたけど。

苦勞

効果

自分たちの実態を把握できるようになりました

目標にしていた「環境といえば木下緑化」というイメージは、地域や取引先で定着してきたように感じます。緑のリサイクルを旨にした当社は、もともと循環型の業態を持っていました。環境省推奨のエコアクション21に取り組み、社外にアピールしてきたことでブランド化されて、おかげで屋上緑化の受注率も高くなってきた気がします。社内に目を向けると、これまで概算で捉えていた経費なども、費目・科目を分けて考えるようになるなど、自分たちの実態を把握できるようになったのも、エコアクション21のおかげだと思っています。



屋上緑化施工例
(ホルトホール大分)

木下緑化建設株式会社 (代表取締役社長 木下 浩市)

本社：福岡県福岡市南区長丘3丁目13番27号

設立：1967年2月9日

資本金：4,500万円

- 事業内容：1. 公共緑地・街路緑地 4. 庭園運營業務・指定管理者・緑地管理
2. 街路計画・住宅外構・ビル緑地・個人庭園 5. リサイクル事業
3. 屋上緑化・壁面緑化・駐車場緑化 6. 樹木生産



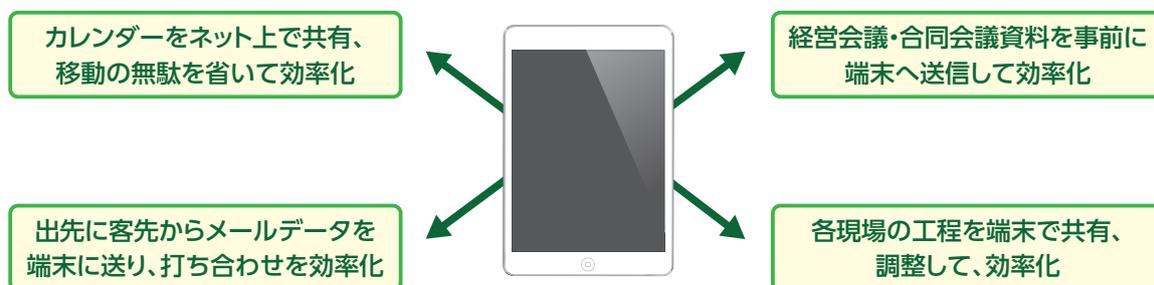
EA21認証・登録番号:0006924

(最新の環境活動レポートは <http://www.ea21.jp/list/pdf/0006924.pdf>をご覧ください)

環境負荷削減へのユニークな取り組み

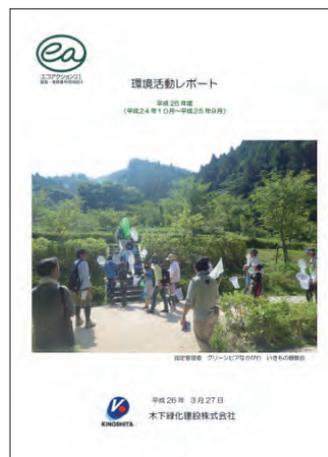
省エネでコスト削減。「会社に負担ばかりのしくみではない」と、本業に絡めた環境活動を続けています。

タブレット端末を駆使した省エネ活動(仕事の効率化)



若手社員から生まれたアイデアは、今の情報化社会にマッチしています。

レポートづくりのノウハウを本業に転用



会社の環境活動の取り組みをまとめる

||

各案件の事業計画書をまとめる

資料を分析・まとめる能力が習慣化して、社員のスキルと案件受注確度の向上につながっています。

競合他社との差別化に受賞歴を活用



受賞の栄誉を事業計画書に記載することで、木下緑化のカラーを確立。さらに、緑の空間を創造する会社として信頼度が向上、それが受注に結びついています。

会社の軌跡をまとめる=エビデンスを保存、展開することで、環境活動を企業経営と一体化させています。

次の企業へ 応援メッセージ

私ももそうでしたが、面倒と思わずに始めてみるのがいいと思います。しゅきは中小に向けた内容ですし、省エネがコスト削減につながるのも実感できます。会社に負担がかかるばかりじゃないということです。そして何より、エコアクション21を認証・取得してから、自社のカラーを社員にも、お客様にも打ち出すことができるようになりました。こうした効果が出てくるのも、エコアクション21のいいところだと思います。

エコアクション21 地域事務局一覧

地域事務局名	郵便番号	住 所	電話番号
北海道	〒060-0001	札幌市中央区北1条西2丁目 北海道経済センター	011-241-6305
銀河	〒024-0051	北上市相去町山田2-18 北上オフィスプラザ	0197-67-1521
環境ネットやまがた	〒990-2421	山形市上桜田3-2-37	023-679-3340
いばらき	〒310-0801	水戸市桜川二丁目2番35号	029-224-8030
とちぎ	〒320-0806	宇都宮市中央3-1-4	028-637-3131
群馬	〒370-0849	高崎市八島町70-51-302	027-326-6677
群馬県中小企業団体中央会	〒371-0026	前橋市大手町三丁目3番1号 群馬県中小企業会館3階	027-232-4123
さいたま	〒330-0855	さいたま市大宮区上小町1450番地11	048-649-5496
埼玉県中小企業団体中央会	〒330-8669	さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティ9F	048-641-1315
千葉県環境財団	〒260-0024	千葉市中央区中央港1-11-1	043-246-2082
東京	〒143-0015	大田区大森西2-4-1 プラスワンビル2F	03-5471-0095
東京中央	〒167-0051	杉並区荻窪5-15-7 白鳳ビル2F 202号	03-3392-5231
東京都中小企業団体中央会	〒104-0061	中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館7階	03-3542-0386
かながわ	〒231-0015	横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター9階	045-671-1138
新潟県環境分析センター・EAとき	〒950-1144	新潟市江南区祖父興野53-1	025-284-6500
上越環境科学センター	〒942-0063	上越市下門前1666	025-544-5021
とやま環境財団	〒930-0096	富山市舟橋北町4番19号 富山県森林水産会館2階	076-431-4607
金沢商工会議所	〒920-8639	金沢市尾山町9-13	076-263-1157
福井	〒910-0859	福井市日之出2丁目2-16	0776-30-0092
やまなし	〒409-3845	中央市山之神流通団地2-5-2	055-278-6155
長野産環協	〒380-0936	長野市大字中御所字岡田131-10	026-228-5886
ぎふ	〒500-8357	岐阜市六条大溝4-12-6	058-272-0408
静岡県環境資源協会	〒420-0853	静岡市葵区追手町44-1	054-252-9023
ふじのくに	〒420-0853	静岡市葵区追手町10 新中町ビル221-3	054-205-8083
いわた	〒438-0078	磐田市中泉281-1	0538-32-2261
あいち	〒453-0041	名古屋市中村区本陣通5-6-1 地域資源長屋なかむら2-1	052-471-7477
とよた	〒471-8506	豊田市小坂本町1-25	0565-32-4660
びわこ	〒526-0845	長浜市小堀町222番地 長浜建設会館内	0749-53-0118
京都	〒600-8085	京都市下京区葛籠屋町515-1	075-708-8064
大阪	〒550-0005	大阪市西区西本町1-7-7 CE西本町ビル8階	06-6543-1521
大阪技術振興協会	〒550-0004	大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センター504号	06-6444-4798
大阪府中小企業団体中央会	〒540-0029	大阪市中央区本町橋2番5号 マイドームおおさか6階	06-6947-4373
ひょうごEMS支援センター	〒654-0037	神戸市須磨区行平町3-1-18	078-735-2738
環境カウンセラー会ひょうご	〒659-0014	芦屋市翠ヶ丘町20-16-312	0797-32-4871
なら	〒630-8114	奈良市芝辻町1-21 船橋プロムワン2F	0742-26-3370
しまね	〒690-0886	松江市母衣町55-4商工会館4F	0852-21-4809
岡山県環境保全事業団	〒701-0212	岡山市南区内尾665-1	086-298-2122
ひろしま	〒730-8631	広島市中区広瀬北町9-1	082-293-1546
環境未来やまぐち	〒753-8502	山口市桜島3丁目2番1号 山口県立大学内	083-928-2453
やまぐち	〒755-8551	宇部市文京町4-23 学校法人香川学園 宇部環境技術センター内	0836-32-0082
徳島県中小企業団体中央会	〒770-8550	徳島市南末広町5番8-8号 徳島経済産業会館(KIZUNAプラザ)3階	088-654-4431
高松	〒760-8515	高松市番町2丁目2番2号	087-825-5601
愛媛県中小企業団体中央会	〒791-1101	松山市久米窪田町337番地1 テクノプラザ愛媛3F	089-955-7150
高知商工会議所	〒780-0870	高知市本町1-6-24	088-875-1170
福岡	〒804-0003	北九州市戸畑区中原新町2-1	093-873-1453
ECO-KEEA九環協	〒813-0004	福岡市東区松香台1-10-1	092-662-0410
久留米商工会議所	〒830-0022	久留米市城南町15-5	0942-33-0215
未来長崎	〒855-0801	島原市高島2-7217 島原商工会議所1階	0957-65-5018
ながさき	〒850-0036	長崎市五島町3-3 プレジデント長崎206号	095-893-5900
環境技術協会	〒860-0031	熊本市中央区魚屋町2丁目5 サンコムビル3F	096-245-6235
おおいた	〒870-0901	大分市西新地1-3-5 サンビル1階	050-7548-6795
みやざき	〒880-0911	宮崎市大字田吉6258-20	0985-51-2077
かごしま	〒891-0132	鹿児島市七ツ島1-1-10	099-284-6013
沖縄県公衆衛生協会 (平成27年5月認定予定)	〒901-1202	南城市大里字大里2013	098-945-2686

事務局 (問い合わせ先)

一般社団法人 持続性推進機構 (IPSuS)

エコアクション21 中央事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-14-18-4F

E-mail: info@ea21.jp URL: http://www.ea21.jp

【地域事務局】



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。